

マツダ新報

目次

第十四卷

第四號

將來の電燈の趨勢	2—5
照明經濟に就て(一)	6—14
新發賣『DM-7 型積算電力計』	15—18
新裝成れる青森電燈株式會社事務所	19—22
代表的商品を表象せる看板	23
マツダ照明學校の一部	24—25
マツダ・サン助成會合併總會の記	26—29
電球に照らし出された淺草の女	30—33
マツダ助成會 主 催 第二回陳列窓裝飾競技會	34—46
電氣と波の展覽會	47
編輯後記に代へて	48

將 來 の 電 燈 の 趨 勢

— 大阪に於けるマツダ、サン助成會合併紀念講演 —

東京電氣株式會社 清水與七郎
販賣部部長

私は東京電氣會社の販賣部長を勤めます清水でございます。此中には既に御目にかゝつた方も澤山居らつしやいます、始めての方も亦少く御座りません。平素マツダランフ其他の販賣に關しては色々御後援を蒙つて居りまして誠に難有うございます。將來共に御愛顧の程を此機會を利用して、更めて御願申上げて置きます。

扱て電燈の將來と云ふ事について御話をする前に、先づ電燈の過去及現在について一言述べる事が順序と考へます。電燈を最初に實用化したものは御承知のエヂソン翁でありまして、西曆一千八百七十九年即ち今より四十八年前の十月二十一日に初めてカーボン電球の特許を得たのであります。此日は實に世界の電氣界の爲に記念すべき日であると云ふので、昨年（一九二〇年）の十月二十一日には東京、大阪、名古屋の三放送局に於て、電氣に關する記念講演會が行はれました。

エヂソンは其當時アメリカのニュージャージー州のメンローパークと云ふ處に住んで居つたのでありますが、翌年一月には其町の全部に此電燈を點火しましたので非常な評判となり、初めて點火した日には見物人を運搬する爲めに、ペンシルバニア鐵道が臨時列車を出す（電燈の點火は、ペンシルバニア鐵道の臨時列車を出した）と云ふ騒ぎでありました。當時の電燈は綿糸を炭化したものでありましたが、其後竹の心を用ふる事の結果のよい事を知りまして、

世界各地に人を派して良質の竹を捜しました結果、日本の江州八幡の竹が一番よい事が發見せられ、一時之が盛に用ひられた時代もありました。併し乍ら此カーボン電球と云ふものは、發明當時に於ては非常に能率のよい電球と考へられたかも知れませんが、之を今日の電球に比較すれば、實に時代遅れの甚しいものでありまして、一馬力の電力に依つて十六燭光の電燈が僅かに八個しかつかぬと云ふ様なものでありました。其後カーボン電球は色々改良を加へられ能率もよくなり、又カーボンに代つてタンタラム、オスミウム等の金屬線を用ひた電球も現はれ一時世に行はれましたが、千九百十年にタングステン電球が世の中に現はれるに及んで、それ等のものは悉く蔭を潜めたのであります。

タングステン電球の發明者は、當時アメリカのゼネラル電氣會社の研究所に働いて居つた一青年技師ウィリヤム、クリーツチ氏でありまして、彼は開闢以來何人も試みて成功しなかつた處の、タングステン線を線に引く事に成功したのでありますが、其發明に至る迄の苦心談は、實に涙なくては聞かすを得ないものであります。併し乍ら今日年々世界中で生産せらるゝ十億近く（十億近く）の電球が、悉く此クリーツチ氏の發明に依つて製造せらるゝ事を思へば、發明の力の偉大なるには感嘆せざるを得ないのであります。

此タングステン電球を更に改良したものが、千九百十三年に出ました瓦斯入電球でありまして、之はタングステンの線を螺旋に捲いて一ヶ所に集め、更に硝子球の内部にアルゴンと言ふ、空氣の中にパーセントしかない瓦斯を詰め込んだ電球であります。此發明者も亦同じゼネラル會社研究所のラングミューア氏でありまして、是に依つて又電球の能率を、更に向上する事が出来たのであります。此兩氏即ち、**クーリツヂ氏**と**ラングミューア氏**との發明の結果として、約二十年の間に同じ明りに對する經費が約五分の一になつたのであります。是を具體的に示しますと、大正十三年に於ける全國電燈會社の電燈料金收入、逆に云へば一般需要家の支拂つた金額が約一億八千萬圓でありますから、若し是れがカーボン電球であつたとすれば、此金額は五倍の九億萬圓であるべきであります。即ち此二人の技術家の發明と云ふものは、日本丈けでも一年に七億二千萬圓の節約を得せしめたのであつて、之を世界全體に及ぼし、又過去二十年に亘つて合算したならば、實に驚ろくべき金額に上る事と考へます。彼等の努力も亦酬いられたと云ふべきであります。

是は昨年迄の状況でありまして、或程度に於て今日の現状と云ふてもよいのであります。然るに茲に昨年初頭に當つて、電球界に一大事件が持上つたのであります。而も夫れが日本人の發明によつて行はれたと云ふ處に無限の興味があるのであります。私は先年神田の青年會館に於て、電燈の將來と云ふ事について講演をした事があります。其時に私は日本人が外國で輕蔑せらるゝ大なる原因の一つは、日本人が發明をしないと云ふ事である。世界の國民は各國共夫々の發明に依つて世界の文明、人類の幸福の上に寄與したのであり

ます。イギリス人は蒸氣々罐車を發明した。フランス人は飛行機を發明した。ドイツ人は澤山の藥品染料等を發明した。伊太利人マルコニーは無線電信を發明した。アメリカ人に至つては殆んど無限とも云ふべきで、**エチソン**翁丈けでも數百の發明をやつて居る。活動寫眞も蓄音器も共に**エチソン**の發明である。電話を發明し、又ラヂオを今日の様にしたのも亞米利加人である。然るに日本人は何を發明したか。パンの中にアンコを入れてアンパンと云ふものを發明して腰辨先生の便利を計つたと云つても、世界の文明には關係がない。又人力車の金輪を廢して、これにゴムタイヤを利用する事を發明したと云つても、人類の幸福には影響がない。是では外國人から輕蔑されても仕方がないと考へます。

電燈の發明に於ても同様である。**エチソン**も**クーリツヂ**も**ラングミューア**も悉く外國の名前であつて日本語ではない。講演をする時に外國人の名前を矢鱈にかへると、講演者自身が偉らそうに聞えて一寸よいものでありますが、實は甚だ遺憾の次第である。此次同じ様な講演をやる時には、是非一人位日本人の名前も加へて見たいものだ、と云ふ事を云つた事があります。其後も數回同じ様な講演をやりましたが、終に日本語の名前を云ふ機會がなかつたのであります。

然るに今日此場所に於て初めて、私は此電球發明家列傳の中に正直銘間違なしの日本人、不破橋三君の名前を加へる事を得た事を諸君と共に大に喜ばたいと考へるのであります。

不破君は帝國大學を出られると同時に、東京電氣會社の研究所に入られ、主として硝子の研究をやつて居られるのでありますが、同君思ひらく、電球と云ふものはどうしても艶消にしなければならぬ、

艶消にしなければ眼に害がある。殊に今後電球が進歩するに従つて更に光のギラ／＼が増すに違ひない。併しながら從來の外面艶消では汚れ易いからどうしても光の損がある。之を防ぐには、内面から艶消をしなくてはならぬと云ふ事を考へたのでありますが、不幸にして内面から艶消をした電球は、構造上硝子が非常に脆くなつて、どうしても甘く行かぬ。之を防ぐ爲めに種々なる苦心を拂はれた結果、内面艶消でしかも非常に丈夫な電球を作り上げて、日本の特許を取られたのであります。而して此電球には從來の真空電球とは違つて、瓦斯入電球と同じ形の心線が用ひてあります關係上、光は普通のものよりは多く出る。其上内面艶消は外面艶消よりも光の透過率が多い爲めに、艶消であつても透明電球と殆んど變りのないものが出来たのであります。其特長については何れ後程、不破君自身から御説明がありますから、私は詳しい事はやめます。

丁度同じ様な事はアメリカに於ても考へられて居りまして、ゼネラル電氣會社の**ビブキン**氏が主として研究致して、アメリカの特許を取り、更に日本へ送つて参つたのでありますが、日本では既に不破君の特許がある爲めに不破君の權利を認めて居りましたが、幾分方法に相違がありますので、**ビブキン**氏の發明も特許になつたのであります。

此内面艶消電球は其勝れた特性上からして、將來世界の電球界を風靡すべき運命を有するものでありまして、アメリカに於ては僅かに一年に充たざる間に、全體の電球の七割迄が此内面艶消電球に變り、歐洲諸國に於ても我遅れじと此電球の製造を急いで居る狀況であります。

従つて不破君の内面艶消電球の發明は、**クーリツチ**のタングステン金屬の線引纖維、又は**ラングミューア**の瓦斯入電球の發明にも比すべき、重大なものであると考へるのであります。

猶此電球の出現がアメリカに於て特に賞美せらるゝ所以は、電球の種類單純化と云ふ事が非常に人氣に投じたからであります。此電球は前にも申しました通り、艶消でありまして光の透過する量は、透明硝子と殆んど變らぬのでありますから、之を以て透明電球に置かへる事が出来た。從來の外面艶消に置き換はる事は云ふ迄ありません。又形が從來の長型と丸型とを折衷した優美な形に出来て居りますから、形の上からしても此二種のものに置き換へ得るのであります。其結果として、此電球の五種類の出現によつて、從來の四十五種類に置換へる事が出来たのであります。

米國商工大臣**フーバー**氏は特に此新電球と、其れによりて置換へらるべき電球との見本を商工省に陳列してあるのを見て、其單純化の理想的なるを激賞せられたのであります。製品の單純化運動はアメリカに於ては、朝野を擧げて努力して居る所でありまして、之によりて製造者は大量生産主義を極度に利用する事が出来、問屋及小賣店は製品の在庫數を減少する事が出来、又其結果として必然起る所の價格の遞減の爲めに使用者も利益を得る。即ち消費者、取次者、製造者三者共に利益を得る事が出来るのであります。

此運動の成功によつて、アメリカは既に戦後の不景氣から快復して、隆々たる國運に進みつゝあるのであります。顧みて我邦は如何であります。不景氣／＼と云ふ言葉は、都會と云はず、田舎と云はず、遇ふ人毎に口にせぬ人がありません。其程度は實に深酷を極め

て居るのであります。然るに此不景氣を轉じて好景氣に爲す事について、考へて居る人は甚だ少くないのであります。今年には愈々底だから來年からは直るだらうとか、棚からぼた餅でも轉けて落ちるかと思つて、口をあけて待つて居る始末で、其中、鼠の糞でも口へ入つて來る位か落で、甚だ不見識な話である。

我々は此際どうしても自分の努力で、此不景氣を轉換する事に努力せねば駄目である。夫れにはアメリカに於て實際に効果のあつた、此の單純化運動を徹底せしむる事が最も近道であると信ずる。此際

に於て此新電球の現れた事は、非常に意義のある事でありまして、これに依つて我々が卒先して、從來の外面艶消は勿論、長型、丸型各種の透明電球を置きかへまして、全部の電球を新電球化せしむる事が出来ましたなら、此事は單に電燈事業界の問題にあらずして、一般事業界の單純化運動を刺激し、是に依りて行詰りたる我經濟界の現状を轉換せしむる助ともなる、大に意義ある企と信ずるのであります。切に皆様の御賛同を仰ぎたいと思ひます。(拍手)

工業品規格統一 調査會の概況(一)

商 工 省 工 務 局

一 緒言 工業品殊に建築、土木、船舶、車輛、機械及び器具等に關係ある材料及び製品であつて、同一の用途に供せらるゝものの品質、形狀及び寸法等區々であるときは、その生産、販賣及び使用において材料、時間等のむだが多く、經濟上の損失が尠くない。若しこれを統一して品質、形狀及び寸法等に少しづつの差異あるものを要求することを避ければ同種のもを多量に生産することになり、その結果製品の品質を高め而もその生産費を低下し、又その取引は大量にして而も簡單となり、なほ貯藏する品種を減ずるから、資金の利用率を高める等商工業上の利益甚大なるのみならず、工業品の互換性を増すから、有事の日に際し一地方の在庫品又は不用品を他地方に融通し、或は急速に工場を擴張するのに便利である。されば歐米先進國の如き工業品の需要大にして多量生産に適する國柄に於ても、夙にこの事業を進めたが、ヨーロッパ大戰中の經驗に刺戟されて、近時益々事業促進の必要を認めているから、別記の如くイギリス、アメリカ、ドイツをはじめヨーロッパやアメリカの十九箇國は皆これに關する中央機關を設け、孜孜としてこの調査を進め、殊にドイツの如きはその工業の復舊に關する緊急の施設事項として、官民一致してこれが調査研究を行ひ、決定した規格の實行普及においても、比類のない成績を挙げつつある。

ヨーロッパやアメリカの情勢がかようであるのだから、商工業組織の小規模であつて、幾多の缺陷があるわが國に於ては、一層この事業促進を必要とする。

照明經濟に就て(一)

東京電氣株式會社

副參事 內 坂 素 夫

序

私は曩に電燈照明大意と題して、技術上から見た電燈照明の概要を書いて叱正を願ひましたが、實際上に電燈照明の効果を世間一般に應用普及せしめて、社會の福利増進に資せしめますには、夫等の方法も施設も凡て生産的であり、又經濟的のものでなければならぬいものでありますから、之等の方面に對する事柄に就きましても、亦充分考慮しなければならぬ事と存じまして、更に氣付きました節々ものを纏めて、重て大方の示教を願ふ事に致しました。従て前者は技術方面から見た、電燈照明工學であり、本文は電燈照明工學の立場より見た事務關係の問題を取扱ひましたものであります。私はもとゞ電燈供給經營に關係した事がありませんから、誤つた考も少からざる事と存じます。尙本文御覽の方々は、重複の點もありますが、電燈照明大意を併せて御參照願ひ度いと存じます。

一、照明智識の普及

(イ)照明奉仕の機關。

光が檜の木片等の摩擦に依り、人爲的に僅かに求め得られた神代以來、燈火も文化の進歩と共に發達し、今日に於ては、電燈照明の諸問題が、空氣や水と同様に我々生活上、必要缺くべからざるものと認めらるゝ様に至りました事は、今更茲に改めて述べる必要もな

き程でありまして、之れ全く電燈供給者各位の奉仕の賜と深く欣喜する所であります。而し實際上に於ける電燈照明工學の價值及其經濟上に於ける目的に對しては、社會一般にはまだ充分了解を得て居られない様に思はるゝのみならず、照明智識其ものもまだ充分普及して居らない様に見ゆる點も亦少くありません。従て照明工學發達の餘地も、之に依つて生ずる諸般の福祉も、大なることを表すものと存ぜられます。而して之が善導と促進の如何も亦主として、電燈供給者の援助と奉仕に係ること大なるものと信ずるものであります。

現在我國に於ては斯界の學會協會等の團體や電氣雜誌等が、色々照明智識の普及に夫れ夫れ盡力せられて居りますが、之等の運動は常に一般社會に對し、直接に行渡ると云ふ譯には行かないものであります上に、一般需要家との間に直接の交渉を有する電燈供給側に於ける對需要家の奉仕も、直接間接夫れ夫れ行はれては居りますが、之又具體的に組織立てゝ行はれて居る所は少き様であります。

然し電燈照明工學の發達と共に、電燈事業營業上の立場より見ましても、今後は從量制需要家の増加や、電燈電力の自然増加を只拱手見送て居るべきもので非ざる事は明かでありますから、早晚組織立てられた完全な各種の奉仕機關が、各電燈供給會社中に出来る事とは信じます。私は照明奉仕の機關設置を第一に提唱するものであ

ります。今此機關の目的及利益を挙げますと、電燈供給者は此機關設置に依り、完全なる照明智識が單に需要家一般に普及すると云ふ事だけでなく、次の利益があります。即ち

(一) 需要家に對しては——供給者との間に相互の好感を増加し、善良なる照明效果に對する満足を與へ、

(二) 供給者自身に對しては——新らしき營業の發展を助け、併せて現在の需要家の照明方法を改良して、電燈電力の需要を増し、從つて其年收を増加し、

(三) 電氣機械器具の販賣業者に對しては——協同の活動に依りて需要家の取付機械器具の改良、及其賣上の増加と共に配線工事の完全を保つ、

以上のやうな利益がありますので、其組織は規模の大小や、周圍の事情に依り差異ある事は勿論でありますが、需要家も供給者も機械器具販賣業者も、共に利益を得らるゝことゝなるものでありますのみならず、電燈電力が照明工學の理論に立脚して、有効に消費さるゝと云ふ事は、國家的見地からしても非常に有益の事と存じます。現に米國に於ける供給者等に於ては、無形の利益を除きまして、此係の年經費一圓に對し年收五圓五十錢の割合の増收が、平均あるとの計算が報告されてあります位で、電燈供給者は大抵此機關を夫れ夫れ設置して居ります。ボストン市のエヂソン會社の一昨年度(一九二五年)の成績は、二十餘人の社員で約四十八萬圓の仕事をして居ります。而して増加せる年收は、更に毎年繰返されるのでありますし、需要家側に於ける照明改善に依る生産上の利益も亦年々繰返さるゝのであります。加之是等の利益は單に關係當事者間の利益及其事務

の發展に止まらず、延いて需要電力の増加となり、併せて屋内外工事の發達となり、又一方電氣事業以外の産業も發達し、能率も向上する事となります。統計で示す如く電氣事業の發達は、電燈及電力の建設を表示するものであると云ふても過言でないかと存じます。特に電燈料金は電力料金に比し、最も割高の収入財源でありますから、照明智識普及に對しては各電燈供給者の一段の努力を斯界の爲めに希望するものであります。他の電氣業者も共に協同援助に力を盡されん事を望むものであります。

此機關は照明工學を基本とするものでありますから、自他共に照明智識の普及及教育が大切であります。而して家庭照明、工場照明、商店照明、事務所照明、裝飾照明及街路照明等何れも電燈供給者に縋頼して、其改善と發達を熱望して居るものが、至る所に多々ありまして仕事は澤山ありますが、設立當初は土地の事情をよく知り、文筆も對話も上手な若手の技術者一二人にて、地方的に仕事を始めらるゝがよいと存じます。而して仕事が増加すれば其發達に従ひ、各部門に分類して、専門家を配置するがよく、電燈の分布状態、電球の種類取付器具の種類、配線の模様等の統計から、照明状態の趨勢を知つて、需要家の相談相手となり、照明の設計、配線の設計、器具の選擇等に對し、常に需要家を教育指導して照明の改善及向上を行ひ、善良なる照明效果の實績を順次擧げ行くものであります。

東邦電力會社名古屋支店では、既に實行を始められて居られますし、其他の電燈會社の一二に於ても、實行の計劃あるやに承つて居ります。尙街路照明の建設等に對しては、統一ある建設を必要とす

る爲めに、自然都市當事者や町内組合總代等との接衝上、此係以外に幹部の援助も必要であります。街路の電燈は一般照明用のものに比し、不利に見へる場合もありますが、一般には左様不利とは云へないものであつて、公益的性質を有する電燈供給者としては、家庭電熱の普及も大切であります。正しき街路照明の普及に對しては更に幹部の盡力をも望みますもので、一般市民に對し、豫め照明智識を普及せしめ置く時は、凡ての話が了解し易く、自働的に働き進む事が容易であると思ひます。

尙一般的に照明奉仕に對しては、東京電氣會社には十年前より照明課なる係がありまして、夫れ夫れの専門技術者が居り、各種の資料もありますから、利用せらるれば相當便宜ある事と存じます。

(ロ) 増燈増燭の勧誘奉仕。

電燈供給者は其營業上、増燈増燭に對しては、夫れ夫れ相當の機關の下に當時努力せられて居られます。而して電燈電力は年々之等奉仕と自然増加と相俟つて、累年増加して居りますが、一方發電力は發電所建設に依るも、受電の契約に依るも増設の場合には、何れも大容量のものとなります爲めに、茲に餘剰電力消化に對する、增收對策を講ずる必要が生じます。兩者の場合の間には其取扱方に自然差異を生じます。其主旨は殆んど同一でありますから、茲には後者の場合を主として考へる事に致します。此奉仕の仕事は餘剰電力の消化と增收が目的であります。單に電燈供給者の利益を擧ぐると云ふだけでなく、寧ろ其區域内の發展繁榮、需要家の福利増進にあるべきものであつて、只明い家は幸福だ、明い店は繁昌する、明い町は賑ふ等云ふ常識的事柄以上に、我國學生の近視眼が三割

から五割もあると云ふ統計や、視力と動作、作業と照度の關係が三十米燭内外を少くとも、要すると云ふ實驗報告や、衛生、保健及安全の立場より採用せられた所の、米國の工場法規及學校照明法規等を示さるゝ最小照度の割合が、精密作業に對しては五十米燭以上を強要して居る事柄と、現在の我國の平均照度や平均光力とを對照する時は、此奉仕は實に國家の爲めと云ふ意義深きものとも考へられます。而して今迄電力に餘剰なかりし爲、電燈供給者として當然爲すべき社會的奉仕が、延期されてあつたと思ふのが至當とも存ずるもので、主旨としては照明奉仕の機關と同様に、照明工學を基本とするものであつて、只其實行方法が前項のものと異なるものと見るべきものと思ひます。從て利益も目的も同様ですが、普通此仕事は臨時的のものである爲めと、既設の電燈の燭燭と追加増燈の勧誘を主とし、其供給區域内一齊に行はるゝ爲め、奥行は浅き様ですが非常に廣く行渡るもので、回数も幾回でも繰返されます。而して供給者側に對しては更に資本金に對する利益率の向上、盜用防止の積極方法、需要家の反感防止、從量燈増加に對する收入減の豫防、電球の進歩に對する收入減の豫防、需要家の照明教育と將來に對する增收の基礎の確定等の利益を擧げ、又需要家側に於ては、不完全照明の改善に依る利益や、子弟の視力保護に對する效果を得らるゝのみならず、供給者の當事者が商賣人らしくなる爲めに、萬事に好感を覺ゆる様になる等の利益が併得さるゝものであります。

之が實行方法には必ず一定の規劃を先づ作製し、期間時期、提供特典、收支豫算書、料金の考察、電球及器具類の標準、廣告印刷物講演及活動寫眞其他の利用方法、勸誘員の敎修、組織等を豫め決定

すべきものであります。期間は普通一箇月内外で時期は、土地の状態及供給者の都合に依り適當の時を撰び、提供特典には幅引利用、電球又は器具の無料提供、工費又は料金の無料或は、差額免除等色々あります。收支豫算書は結果に於て相當大なる増収がある代りに、又經費も相當要するものでありますから、豫め適當に立案して責任數や勧誘料も決定し置くべきものであります。若し料金の改訂を要するものある時は、此際行ふのが最も賢明であります。特に我國現在の高燭燈料金は一般に不同であり、又低燭のものに比較して稍、高率で其普及を阻害する様に見へる所もあり、百燭以上のもの等に對して規定の公表されざる所もある様ですから、電球の進歩と照明の向上とに關聯し考究せらるべきもので、併せてワット制度と、燭光制度との關係も考究せらるべきものと存じます。電球及器具其他の材料は適量を適所に、準備し置くべきもので、又適當の時機に到着する様、註文する事も必要であります。廣告印刷物は種類、圖案、印刷及配布方法と時期等の順序を豫定し、講演の場所、講演者、招待者、利用活動寫眞等のプログラムを勧誘地方別に定め、次で勧誘員の組織及其教修の方法を立てます。普通は一時的のものでありますから、營業係員以外のものも、參加して多數のものを各班に分ち行ふのがよい様です。教修よろしきを得ば、少くとも社内宣傳に對しただけでも非常な利益があります。而して其實績は土地の有様、勧誘當時の状態、第一回或は二回以下の場合、其他の事情に依り變化ある事は勿論ですが、平均を見ますと、増燈が總燈數の約二分五厘、燭變燈數が總燈數の約一割八分、燭力増加數が約二割三分平均燭光上昇が約二燭二分位が實驗上の平均數であります。然し之

等は平均燭力が、比較的低き所の場合多き様でありまして、平均燭力が十六燭光内外の所に於ては、増燈が却つて増燭より高率となれる結果がありますから、計劃方法としては増燈を主とする場合と、増燭を主とする場合とがあることゝなります。

東京電氣會社では奉仕係なる組織がありまして、之等の仕事の御手傳を致して居ります。最近百數十會社の勧誘奉仕に参加して、夫れ夫れ好成績を擧げて居りますのみならず。相當の自信も有して居りますから、本件に關し御問合せあれば喜んで奉仕致します。

次に勧誘方法を活動寫眞等の如き鳴物入を用ひず、多人數の勧誘員の手をからずに、一定の期間、一定の廣告計劃に依り、工場照明住宅照明、又は商店照明等に分類して見込ある需要家を定め、效果ある廣告をポスター、新聞手紙其他の方法で順序立てゝ行ひ、更に營業係員に依り追窮勧誘する所謂商戰なる方法も亦有效のものであります。需要家全部に行渡らぬ缺點はありますが、經費はそれだけ少額で済みます。此方法に對しては、東京電氣會社廣告課に御問合せあれば便宜計劃並に御手傳を致します。

之を要するに我國の照明狀態は、照明工學上から見て、其發達の餘地大なるものでありますから、協調努力次第其效果は著しきものと信じます。

(ハ)照明效果の實物説明。

照明效果は机上で論議するよりは、實際に表示する方が了解し易く、又有效でありますから、適當の設備があれば照明智識普及上非常に裨益する所大なるものであります。陳列所等を設けて實地に點燈設備を行ひ、公衆を指導して居る電燈供給者や、商店も現にあり

ますし、東京博物館の一部にも此設備があります。又電燈供給者の

飾窓利用も有効で、夫れ夫れ効果あるものであります。米國では大なる電燈供給者は、夫れ夫れ相當の店舗を有して居ります關係上、實物説明室を設けてありますが、最近クリーブランド市及ハリツン市のヂー・イー會社では各其構内に照明學校なるものを、創立致しました。又獨逸ではオスラム會社内に、光の家なるものが出来ました。何れも正しい照明の研究並に宣傳の場所として作られたもので、相當の建坪を有し、各種の照明上の問題を實地に説明し、斯業に關係あるものは勿論、講習生又は婦人や學生等の見學をも歡迎して、一般社會に照明工學の原理や、照明經濟の關係を實地に教育せしむるのを目的として居ります。英國ではブリチシュ・トムソン・ハウストン會社内に以前から、マツダの家と云ふものがありました。之は營業事務所で照明奉仕等は行ひますが、上記のものと稍趣が異なります。照明智識普及の必要は、世界各國共に認められて居る所でありまして、各國共何れも相當な計劃が行はるゝ事と存じます。

我が東京電氣會社に於ては從來ある銀座の店の陳列所の外に、今般川崎市の本社内にマツタ照明學校(本誌二四、二五頁の寫眞参照)を矢張り上記の目的で作る事になりました。之は名稱は學校でも普通の學校と異り、照明上の實地の研究や實驗に重きを置くもので、講習會等をも隨時催しまして、稍公開的のものとする積りであります。建坪は約二六〇坪程で之がホール、講義室、商店照明室、舞臺照明室、色彩照明室、參考室、光度計室、寫場照明室、工場照明室、特殊照明室、家庭照明室、作業室等に分けてありますから、一般の利用を得ば照明智識普及に對し相當大なる貢獻がある事と信じま

す。

尙照明智識普及に對しては、各電燈供給者が其所在都市に於て、飾窓競技會、電氣サイン競技會、通俗講演等を主催又は後援する事は照明向上に多大の効果があるものであつて、現に一二回の飾窓競技會開催の結果、飾窓内照度の向上と光の利用法の進歩と共に、露出電球が影を沒したと云ふ實例もあります。又各種の文獻印刷物、宣傳印刷物の發行配布も有意義と信じます。各都市に於ける照明の向上は直に電燈供給者に對し、返酬が報ひられるものと存じます。

夏期扇風機用の送電の爲めの晝間送電に對し、定額電燈の故を以て電燈が終日終夜點されてある等の實例も時に發見されます。之は單に炎熱の苦を増す以外に、電力を無駄に消費し、電球の壽命を短縮する以外に、自他共何等の利益なきにも拘らず、需要家が平氣である様に見えます、其くせ必要と認めらるゝ所には却て低燭力の電球で、甘んじて居る様に見えます等は、原因が送電線路の不備に基くと共に、賣の一半が供給者側にあるとは申しながら、照明上から見て、一種不快の實物説明である様に感じます。照明智識の理解さへあれば、之は需要家の一舉手の煩で、解決するものでありますから、之等の一例から見ましても、照明智識の善導は最も必要なくと存じます。

(二)獨逸に於ける照明智識の普及運動。

米國に於ては電氣協會、照明協會等が色々の委員會を作り、或は種々の宣傳方法を以て照明智識の普及に、常に努力して居ります。特に電氣發達協會に於ては電燈供給者、製造者、販賣者等が共同して各種の印刷物を配布したり、電氣ホームを建たり、電燈供給者の營

業の援助等をしてたりして、社會的に各種の宣傳が徹底的に行はれております。之等の事實を發見した獨逸のオスラム會社のエンセン氏は、自國の有様及將來の計劃に就て、昨年獨逸の照明學會で照明經濟の目的と題し、照明經濟協會を新に創立して、照明智識の普及運動を爲さんと述べて居ります。其内には次の様な事がありますが、他山の石として見る事が出来ませう。

今より數年前我獨逸に於ける電球の需要が他國、特に米國に比べて非常に遅れて居ると云ふ事を知つた時、吾々は照明即ち光の應用と云ふ方面に、大いに意を注がねばならぬ事を、切に感じたのであります。

電燈會社は初めは電燈の爲めに、設立されたにも拘らず、種々の理由で照明の方は等閑にせらるゝやうになりました。宵の内數時間だけ大きな發電機を運轉して、晝間それを遊ばせておくと云ふ事はいかにも不經濟でありまして、之を晝間動力に使用して負荷の平均を計るやうに致し、次で炊事、暖房、著熱と云ふ方面を開拓するに及んでは、夫等に對する電力料金が、電燈料金よりも遙に低いにも拘らず、もはや照明等は殆んどかへり見ない様になつてしまつたのであります。照明の増進が種々の利益幸福を、齎すものである事を認めしめるのは、正に吾々の務でなければなりません。

大きな電氣會社に於ては、電燈の如きつまらぬ事よりも、送電線の建設とか電氣機械類等の方を好む様になり、従つて電燈工事の如きものは、小さな工事屋の手に移されてしまつたのであります。そしてそれ等の工事屋も、電燈の擴張に必ずしも熱心ではなかつた、

夫は電燈照明と云ふものが、如何に重要なものであるかと云ふ事を、夫等の工事屋が理解して居らない事にも起因して居るのであります。

電燈なるものは初めは、金持連のみ利用出来る贅澤物であるとして一般に考へられて居りました。金屬織條の出現に依つて此考へは、大分變つて來たけれども、電燈の適當な利用法が未だ一般によくわかつてない爲めに、十分にその價值が認めらるゝに至りません。

照明に要する費用は不生産的のものであると、一般に考へられて居りますが、最近の研究に依れば此考へは間違ひであつて、適當なる照明に依る生産の増加は、その照明費用をつぐなつて、餘りあるものであると云ふ事が十分證せられて居ります。此事柄を廣く社會に理解せしめねばならないのであります。

新しき時代には新しき方法が必要です、今や吾々は最も少ない費用で最大の効果を擧げなければならぬ所の非常の時期に際して居ると云ふ事は何人も否むことは出来ませう。

夫で如何にして此仕事を爲すべきか、個々の會社、或は個人の力は餘りに微弱である。

「新時代には新方法」と云ふ言葉は此場合にも用ひられます。各電氣事業者は徒らに料金の競争を爲すべきでなく、寧ろ協力する事によつて事業の擴張を計るべきであります。

協力と云ふ事は電球會社と器具製作者との間にも必要である。カーボン電球時代その儘の扁平な反射笠に、現今の高燭光電球を附したりすれば、徒らに眩暈を生ずるのみであります。

要するに照明經濟の實際的效果は需要者の利益を目的とした所

の、一致協力によつてのみ得られるのであります。

私が米國に行つて痛切に感じた事は、米國の異常なる富が全く米人の一致協力のたまものであると云ふ事でありました。現在米國は我國に比べますれば、同一資本に對して數倍の需要供給を行つて居ります。

照明經濟に於ける吾々の努力が、米國にまけぬ結果を生ぜしめ、延いては全獨逸國民の經濟生活に恩恵を持ち來さん事を私は衷心から望むのであります。

此運動は單に獨逸だけでなく、英佛及和蘭等の歐洲諸國でも段々計劃されて居る様です。我國に於ては家庭電氣普及會が、電燈照明の普及にも更に努力せらるゝ由であり、又照明學會内には最近照明知識普及委員會が出来て、更に色々努力せらるゝ筈でありますから、大なる効果が擧げらるゝ事と存じますが、吾々は米國にも獨逸にも負けない様に努力する必要があるのみならず、かくする事が吾々の務と存じます。

二、電燈供給制度

(イ)ワット稱呼の統一。

現在我國に於ける電燈供給制度には、定額料金制度と従量料金制度との二種があり、前者は供給者と需要家との間に一箇月何燭（又は何ワット）幾何と制定して、電球を無代又は實費にて提供して、光力の供給が契約せられ、後者は消費電力量に應じ一キロワット時幾何と定め、電燈用電力の供給が成立するもので、屋内配線の供給者負擔又は需要家所有に依り、器具損料の有無、最低料金制の有

無、特別割引制の實行等色々な條件があり、其料金も供給者及場所に依り差異があります。料金問題は往々需要家側との間に問題になることもあります。政治問題に利用せらるゝ等の場合は別として、照明知識が相當普及せられて充分の了解が相互にある時は、圓滿なる關係が常にあるものと存じます。電柱一本當りの燈數多き都會のものと、比較的燈數の少き地方村落のものとは自ら差異あるものであります。又火力、水力等に依る發電費に依りても、送電線路の亘長によりても、周囲の有様や其他の事情によりても差あるものであつて、全國的に同一には出來ざるものであります上に、電燈事業經營上損益の分るゝ所で、經濟上重大なる問題でありまして、事業經營上に關するもの故、安き程望ましき事であり、又合理的のものを希望致しますが、私は茲では個々の料金問題には觸れない事と致します。然し高燭の禁止的の如き料金の改善や、僅の風雨其他の事故の爲めの不時の停電の如き事や（定時の停電でも随分困ります）電壓の高低等は料金問題以外に、照明の普及の點より見ても大切と存じますから、設備の改善と共に送電上の安定を望むものであります。又今後大建築物の建設と共に、電燈と雖も晝夜間送電を要する様になり、又高燭の電燈需要も増加致しますから、同一の電力でありながら電熱又は、電力との間に甚しき差異ある事も、經濟上より考慮さるべき將來の問題かと考へられます。

大体に於て従量制と定額制との燈數は、殆んど半々位で（需要家數に非ず）ありますが、最近従量制は餘程増加して參りました。而して前者は上述の通り普通ワット時に依り電燈電力が計算されま

問題になりませんが、定額制に於ては左様簡單には參らぬので、供給制度と電球の容量稱呼との間には、密接の關係あるものとなります。電球の容量或は定格と其稱呼は炭素電球時代には、光力制に依るものゝみであつたが、電球の進歩に伴ひマツダ電球が出現し、次で

は、各供給者が色々考慮せられた様に存ぜられます。然しワット制及平均水平光力制との二重様式の併用は、種々の複雑と不便が伴ひ、經濟上にも不利の様に考へられます。

マツダ瓦斯入電球が市場に發賣せられて以後、ワット制に依るものが用ひられ、更に新マツダ電球及新マツダ瓦斯入電球が廣く使用せらるゝに至り、自然何れの定額制にも光力及ワット制の二様式が、採用せられて居ります。而して普通供給規定に記されてある光力は逓信省の事業法にある如く、電球の平均水平燭光を表示せるもので、マツダ真空電球の如く纖維が直線式捲線の電球に於ては、平均水平燭光は其最大光力でありまして、全光量を表す平均球面燭光の約二割五分増となります。捲線の構造が異りますと、配光狀態は變化しますから、同一光量のものでも其水平燭光は變化します。換言すれば同一水平光力のものでも全光量は異なるものとなります。從て單に光力制と申しまして上記の如く、二つの意味あるものが存在する譯で、新しく製作された瓦斯入電球以後のものは、其纖維が構造上螺旋式である爲に、之等に對しては逓信省の電氣事業法規定に於てもワット又は平均球面燭光を定格とせらるゝ次第で、平均水平燭光を基とせる光力制にては學理上不合理であり又不正確のものとなつたのであります。のみならず形式上明いものでありながら、規定光力は却て少いものとなります爲めに、ワット制が併用せられたのであります。而して瓦斯入電球は真空電球に比し、同一電力でも明

歐米の趨勢を見ますと定額制が、少かりし爲めもあります。最近各國凡ての一般照明用の電球は、全部ワット稱呼で統一せらるゝ事になりました。我國でも既にワット稱呼で統一せられて居る電燈事業者もありますし、又將來に於ける電球の發達に鑑み、ワット稱呼統一に關する御意見も承りますが、全國的に一般照明用電球全部のワット稱呼統一實行には尙幾分時日もある事かと存じます。而し取扱上からも製造上からも使用上からも、便利でありますから、今迄の習慣もありますが、一日も早くワット稱呼統一の單式制度採用を照明經濟上望むものであります。

(口) 標準定格の制定。

電氣事業者が如何に厚意をよせらるゝとも、其點燈數少き場合や事業が收支償はざる場合には、一般電氣製造業者並に販賣業者の隆盛は期待し得られず、兩者の發展は相互に正比例するものであります。電氣事業の發展は又、兩者の提携連絡及協同努力の實行に依り、始めて十分なる効果を見る事が出来るものである事は、何人にも異論なき事と存じますが、特に電燈供給規定の標準定格と、白熱電球の標準容量の關係は、全く不可分と云ふてもよき程密接の關係あるものと思ひます。現に特殊の定格規定の爲めに、事業者及製造者の兩者が相互に不便に苦み、何等利益する所なき様な實例もあり

ます。

如何なる併用制度にて之を一般照明用に採用せんかと云ふ事に就て

今日市場にある白熱電球容量の定格は、陸海軍用等の特殊品を除

き、一般照明用のものゝみに就て考へても、製造上の便宜と電燈供給者の夫れ夫れの事情の下に、採定せられある定格の標準に依り、數ふる時は相當の數に上るもので、今百燭光以下の定格のものを舉ぐる時は、五、六、八、一〇、一六、二四、二五、三二、五〇、八〇及一〇〇の十二階段あり、更に之に準應するワット制のものがあります。尤も之等は皆過去の經濟事情に依り、電氣事業の發達と共に發達せるもので、各種の階級ある事は一面便利の様ではありませんが、適當なる最小限度の標準定格に統一する事を得ば、電燈供給業者及製造者の兩者から見ましても、亦販賣業者需要家側から見ましても、經濟能率上更に有利の事と存じます。

米國ではワット制にて其定格は一〇、一五、二五、四〇、五〇、六〇、七五及一〇〇の八種、歐洲各國は矢張ワット制にて一五、二五、四〇、六〇、七五及一〇〇の六種、但し右の外必要に依り一〇ワットを準標準として居ります。尙英國には二〇、三〇ワットのものをも準標準として居りますが、内面艶消に依る電球の新標準線の定格は、各國共六種であります。要するに之を我國の現状に對比しますれば、何れも殆んど二分一以下でありますから、製造上及配給上の能率は、歐米の二分の一以下に低下して居る譯であります。最近電氣協會に於ては、特別委員會が設けられ、之が統一に就て調査研究中でありますから、遽からず適當なる最小限の標準定格の制定が發表せらるゝ事と存じますが、此際併せて燭力、ワットの二様の定格をワット制に統一實行し、電球の取扱、貯藏、輸送其他の經費の節約を計り、電燈照明に依る一般福祉の増進を企圖するは、我々の責務の一と存じます。又歐米では四〇ワット以上の電球は凡て瓦

斯入電球が標準でありますから、瓦斯入電球及真空電球の併用の供給制度も、此際ワット容量に従ひ、一方に統一するが便宜と思ひます。尙一〇〇ワット以上の標準定格は一〇〇、一五〇、二〇〇、三〇〇、五〇〇、七五〇、一〇〇〇及一五〇〇の八種でありますから、之又社會的に同一に順應するのが便宜と存じます。而して標準定格の制定と共に、供給規定及其料金が適當に制定されれば、本邦電燈事業の經濟能率も從て各方面から向上せらるゝ事と存じます。

世界各國に於ける電氣普及

エレクトリカル、ウオールズ誌は一九二七年二月十九日發刊號に於て、世界各國に於ける電氣供給普及の狀態に就て、次の様な數字を掲げて居る。

電球消費量は米國が世界第一にて、一ヶ年人口一人當り三個強と云ふ割合であつて、獨逸及日本之れに亞ぐ。又電氣需要家の全戸數に對する割合を以て、電氣供給普及の程度と見るときは、瑞西が世界第一位で次の様な順位となる。

瑞西	九六%	日本	七三%
丁抹	七二%	加奈陀	六二%
和蘭	五〇%	米國	五八%
ニュージーランド	五九%		

(電氣事業研究資料昭和二年四月號)

新發賣御披露

DM-7型積算電力計(最大負荷表示器附)

一、最大負荷料金制

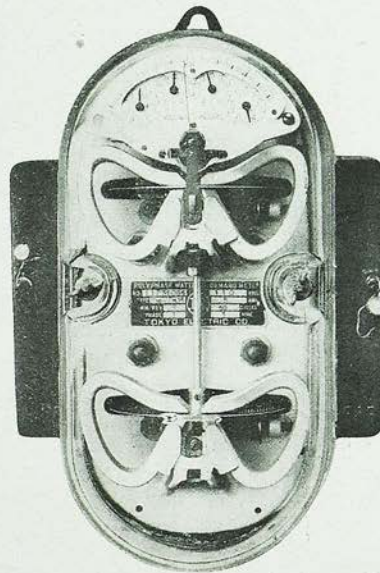
五拾燭光一ヶ月幾何、一馬力のモーター一ヶ月幾何と定める所謂定額制も極端に言へば、最大負荷料金制に屬するかも知れぬが、普通に言ふ最大負荷料金制は従量制の一種に屬するもので、積算電力計の表示する「キロワット」時數に對する料金の外に、其需要家の最大負荷に對しても或る形式にて料金を課する方法である。

例へば電熱器容量一キロワットに付、一ヶ月責任最低使用量を六十キロワット時とし、實際使用量百キロワット時迄は一キロワット時に付五錢、其れ以上超過分に對しては一キロワット時に付四錢なる料金制は、最大負荷に對して責任使用量を課するもので、一種の最大負荷料金制である。但し此の場合には其需要家の最大負荷は、便宜上電熱設備の銘記容量に依り計算するか、或は電流制限器の使用に依りて決定するを常とするが、何十キロ、何百キロといふ大口の需要家に對する電氣の供給契約に於ては、特別の計器を使用して毎月の最大負荷を實測し、以て料金の計算を行ふ方が一層合理的である。此處に述ぶるDM-7型計器は、此の目的に使用するもので一個の計器にて最大負荷(キロワット)と使用電力量(キロワット時)とを

表示し、如何なる料金制にも適用し得る極めて便利な計器である。

二、本器の構造並に動作

本器は第一圖に示すが如き外觀を有し、普通の誘導型積算電力計に比して、其の指示裝置は左の如き三個の主要部分より成る。



第一圖 DM-7型積算電力計

A キロワット時指示裝置

B 最大負荷表示裝置

C 時限裝置

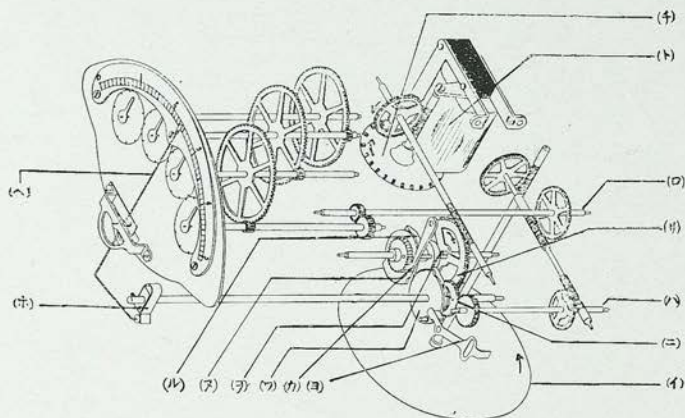
第二圖は本器主要部の解説圖であるが、大圓板(積算電力計の圓

板) (イ)の廻轉は、キロワットアワー(電力量)輪軸(ロ)とキロワット(最大負荷)輪軸(ハ)と同時に傳へられる。前者は普通の積算電力計と同様に齒輪裝置に依り、順次に四個の指針を動かすもので、此れに就ては特に説明の要はない。後者は本器獨特の裝置で、フリクションクラッチ(ニ)を経てボイントリーブツシャー(ホ)の廻轉に依り中央の長指針(ヘ)を動かす。而して其の動きは大圓板の廻轉數に比例するから、是れに依り一定時限中の平均負荷をキロワットにて指示する事になるのである。

本器には別に

極めて精巧な構造を有する、シンクロナスモーター(ト)が裝置され、其の小圓板(チ)の廻轉が(リ)のウォームホキールに傳はる。

(ヌ)なる扇形齒輪は其の背部に半圓形重量(ル)を有し、其の軸はウォームホキール(リ)の軸と一致しては居るが、機械的には何等關係



第二圖 DM-7型積算電力計指示裝置解説圖

はなく、單獨に自由に廻轉し得る構造である。只ウォームホキール、(リ)の廻轉はビン(ヲ)に依つてのみ扇形齒車に傳へられるのである。

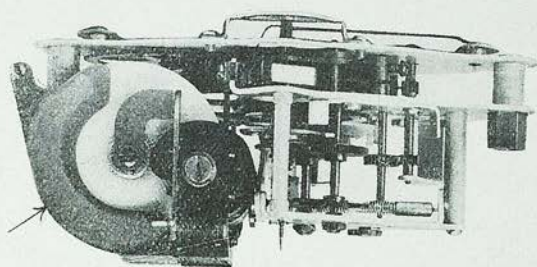
ウォームホキール(リ)は一定時限の間に丁度一廻轉をする。假りに時限を十五分とすれば、(リ)は十五分間に一廻轉する。(リ)の廻轉はビン(ヲ)を経て扇形齒輪(ヌ)及び半圓形重量(ル)に傳はるから、此の二者も十五分間に一廻轉する事になる。此の間小圓板は六〇サイクルの場合には三千六百廻轉をなし、シンクロナスモーター(ト)の動力は極めて徐々に半圓形重量(ル)に蓄積せられ、(ル)が最上部に達した時は、自己の重みに依りて扇形齒輪(ヌ)と共に一瞬間に落下し、其の時(ヌ)がフリクションクラッチの扇形齒輪(ワ)に噛み合ひ、ボイントリーブツシャー(ホ)を一瞬間に零位置に戻すのである。此の動作はフリクションクラッチの介在に由り、積算電力計の圓板の廻轉には何等影響を及ぼさない。此れが時限の終りに起る動作で、更に十五分間後には同一の事が繰り返へされる。ラツチエツト(カ)は扇形齒輪(ヌ)が落下したる後、反動で後へ戻るのを防ぐために使用される。又止め金(ヨ)はボイントリーブツシャーが零位置に戻りたる時のゼロストップである。

斯くして各一定時限中の平均負荷が、長指針(ヘ)に依りキロワットにて指示せられ、ボイントリーブツシャー(ホ)のみは各時限の終りに一度零位置に戻るが、長指針(ヘ)は其位置に止まるから、次の時限中に更に大なる負荷を生じない限り、長指針(ヘ)は元位置以上に進む事はない。従て指針は常に最大負荷を指示する事になり、本器の目的は達せられるのである。

五分迄の過負荷を読み得る様になつて居る。此等は何れも米國電氣協會計器委員會制定の仕様に従て作られて居る。

(ニ) 温度並に電壓變化の影響を受けざる事

シンクロナスモーターの圓板廻轉數は、回路の周波數に正比例し温度の變化、電壓の變化等に依り、實用上少しも影響を受けない構造となつて居る。



第五圖 最大負荷表示裝置附レチスタアの側面圖

シンクロナスモーターの小圓板のガイド

る様に見える、又圓板速度が規定以下の時は、黒點が圓板廻轉と反對の方向に移動する様に見える。此れに依りて、圓板の廻轉數が正しきや否やを容易に試験する事が出来、然かも此の方法に依る試験結果は可なりに高い正確度を持つて居る。(但し此の試験を行ふ場合

因に前記圓板一分間の廻轉數は、

六〇サイクル用のもの二百四十回、

五〇サイクル用のもの二百回にして、

時限の正否を簡単に試験するため圓板の圓周に亘り、等間隔に四角

の黒點を多數附してある。之を試験

する場合には、計器を規定の回路に

接続して、圓板を廻轉せしめ、同時に

同じ回路を電源として、電球を點

じ其の明りに依りて圓板上の黒點を

注視するのである。圓板の廻轉が正

しき時は黒點は殆んど静止の状態に

見えるが、圓板速度が規定以上の時

は、黒點が圓板廻轉の方向に移動す

る様に見える、又圓板速度が規定以下の時は、

黒點が圓板廻轉と反對の方向に移動する様に見える。

此れに依りて、圓板の廻轉數が正しきや否やを容易に試験する事が出来、然かも此の方法に依る試験結果は可なりに高い正確度を持つて居る。(但し此の試験を行ふ場合

には豫め三十分以上モーターを廻路に接続し置き、實際の使用溫度に達せしめる必要がある。又電球は十燭光位にてよろしく外界の明りはなるべく暗くする方がよい。

六、標準定格

(イ) 電 壓

三、〇〇〇乃至三、三〇〇ヴォルト

(ロ) 電 流

五〇〇アムペア迄

(ハ) 周波數

五〇及六〇サイクル

(ニ) 時 限

十五分

近來歐米に於ては時限の長きもの喜ばるゝ傾向あれ共、本邦に於ては十五分に對する需要最も多きを以て此れを標準とせり。

十五分以外のものは當分製作致さず

七、御注文に對しての御注意

本器に對する御注文には左記の事項必ず御指定被下度し。

(イ) 電 壓

(ロ) 電 流

(ハ) 周波數

(ニ) 時 限 (十五分と御指定を乞ふ)

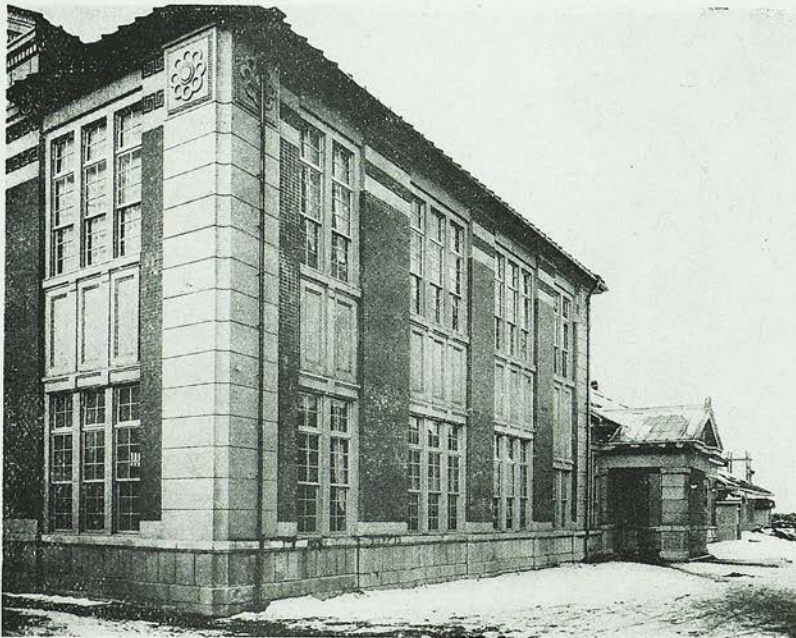
(ホ) 相竝に線式(當分の間三相三線式のみ製作す)

新装成れる青森電燈株式會社事務所

東京電氣株式會社 仙臺出張所 廣 部 俊 十 郎



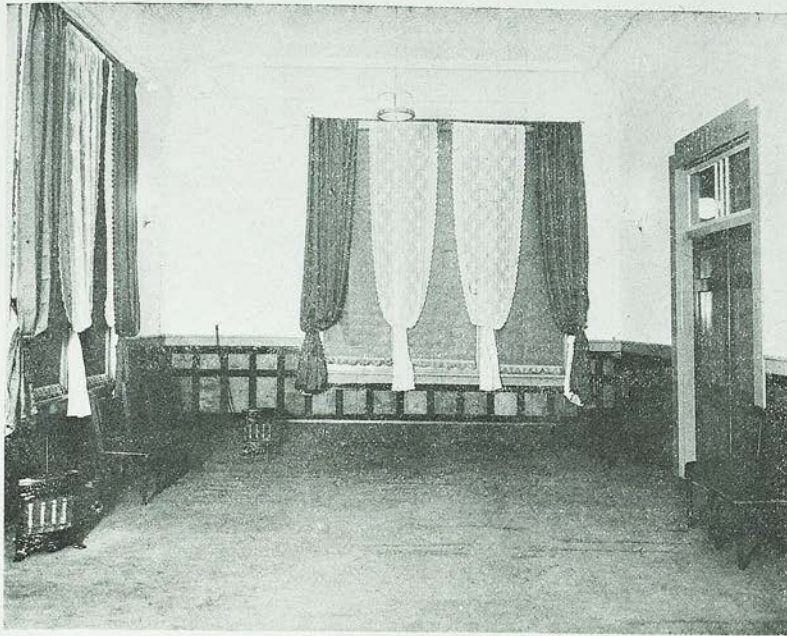
常務取締役 柿崎 普祐氏



本館全景

豫ねて工事中の青森電燈株式會社新築本館は、昨年十二月工事全部落成し、其宏麗なる白壁の建物は巍然として、青森灣頭の一偉觀を爲して居る。

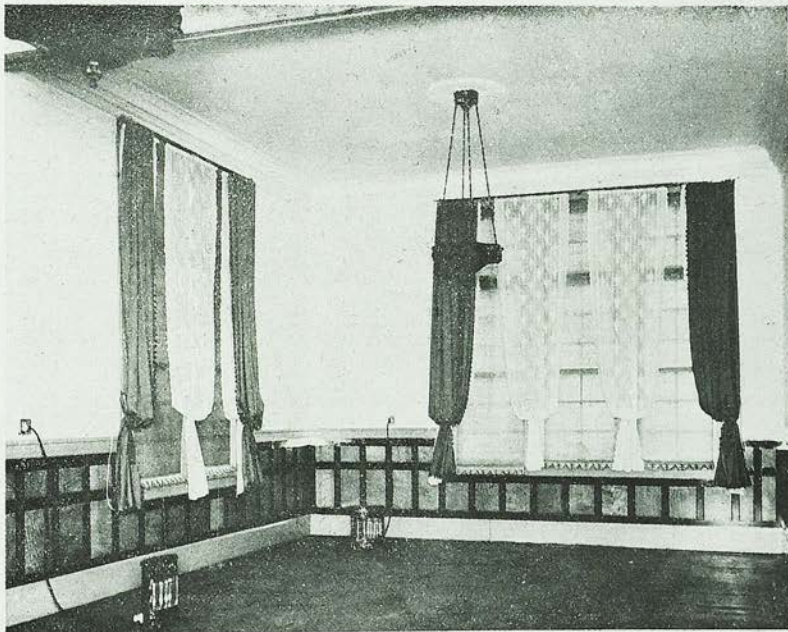
同社の照明設備一切は舉げて吾社に御下命あり、弊社照明課杉山



一 階 重 役 室

技師の研究の下に、其の設計は進められ、同技師は吾社製品並に昨秋輸入せる米國製高級照明器具中の逸品を選定し、嶄新なる設計手法の下に設備は完成せられた。

使用器具費總額は別表の如く五千餘圓、總使用電力は五二キロの

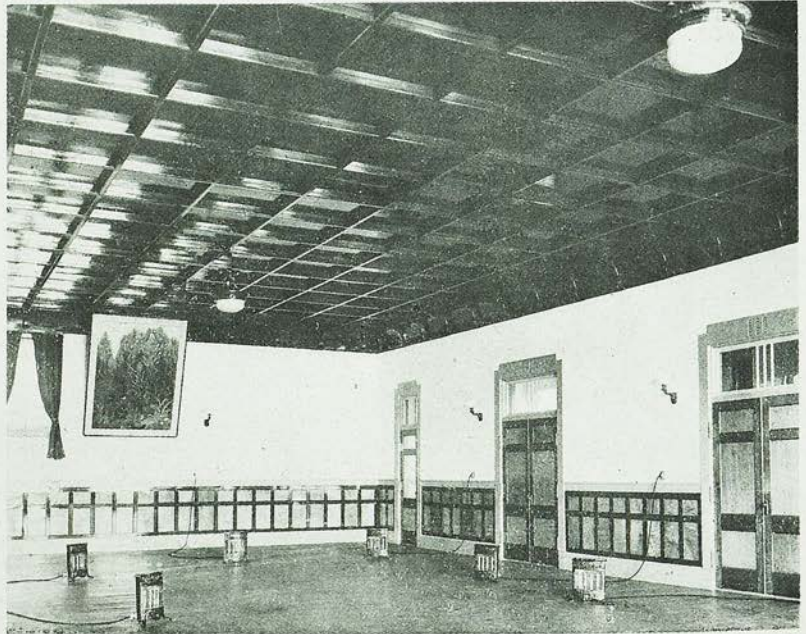


二 階 重 役 室

多きに達し、電氣的諸設備の完備せる點に於ては、蓋東北屈指のものと云ふも敢て過言ではないと信ずる、筆者は當初より柿崎同社常務取締役の御下命を受け、微力を盡せし關係上今や、新装成れる其雄姿に對し感激の念を禁じ能はぬのである。



一 階 營 業 室



二 階 會 議 室

猶新築落成式は諒閣中のため、遷延致してをつたが、彌々四月下旬に舉行せらるゝとのことである。
新館落成と共に同社が益々發展に趣かるゝことを、祈つて止まぬ次第である。

青森電燈株式會社新事務所使用器具分類表

場 所	品 名	個 数	仕 摘 上 電 球
壹 階	(總坪數 二八六, 三)		
庭 園	オーナメンタルボールヘッド	5	暗綠色 500W. C. 5
玄 關	シーリングライト	1	青味宣徳 60W. C. 1
門 室	ブラケット式門燈	2	青銅色 200W. C. 2
營 業 室	14時吊下式高級トロダヤリヤ	39	ブラウンゴールド 200W. C. 39
同 路	トロダヤリヤブラケット舶來グローブ付	5	パバリヤンゴールド 150W. C. 5
通 重 役 室	シーリングライト	1	燵シ 60W. B. 1
同 室	型番 578 二燈用ペンダント	1	銀古味 100W. C. 2
調 査 室	型番 605 ブラケット	4	銀古味 新40W. C. 4
接 室	12時吊下式高級トロダヤリヤ	4	ブラウンゴールド 100W. C. 4
器 室	12時吊下式高級トロダヤリヤ	2	ブラウンゴールド 150W. C. 2
茶 室	コードペンダント	1	燵シ 40W. C. 1
客 留 口	10時 A 型直付トロダヤリヤ	1	金ニス 100W. C. 1
出 入 口	10時 A 型直付トロダヤリヤ	1	金ニス 60W. C. 1
夜 間 執 務 室	16時 A 型吊下式トロダヤリヤ	2	燵シ 300W. C. 2
電 話 交 換 室	10時 A 型直付トロダヤリヤ	1	燵シ 100W. C. 1
工 夫 宿 直 室	コードペンダント	1	燵シ 100W. C. 1
宿 直 室	コードペンダント	1	燵シ 60W. C. 1
廊 下	パイプペンダント	4	燵シ 40W. C. 4
便 所	シーリングライト	2	燵シ 40W. C. 2
工 夫 留 置 場	パイプペンダント	4	燵シ 200W. C. 4
貳 階	(總坪數 八〇)		
會 議 室	半間接シーリングライト	2	銀古味 500W. C. 2
同 室	ブラケット	8	銀古味 100W. C. 8
重 調 役 室	間接照明器具 (Xレー反射笠付)	2	木目付マホガニー 150W. C. 8
應 査 室	間接照明器具 (Xレー反射笠付)	1	木目付マホガニー 150W. C. 4
接 室	12時吊下式高級トロダヤリヤ	1	ブラウンゴールド 150W. C. 1
器 室	コードペンダント	1	燵シ 40W. C. 1
茶 室	ブラケット	1	燵シ 60W. C. 1
踊 場	パイプペンダント	1	燵シ 40W. C. 1
廊 下	パイプペンダント	2	燵シ 30W. C. 2
同 所	パイプペンダント	2	燵シ 30W. C. 2
便 所	2 キロ片面式唐草ストープ	16	
	1 キロ5 升入銅製湯沸器	2	
	型番 G. E. 6S9 埋込式タンブラー スキツチ兩極 10A		組合 50
	型番 G. E. 1834 ベークライト板		
	型番 G. E. 1698 埋込式タンブラー スキツチ兩極 20A		組合 75
	型番 G. E. 1834 ベークライト板		

以 上

代表的商品を表象せる看板

北海道帯廣町

電工社 青木善次郎

電燈會社の増燭計畫實行の後援に、御社より原田工學士一行が來帶せられ、豫定の行動を終了せられて旅館に歸られたのは、昨年五月十六日午後十一時でありました。約十五分後當町創始以來の大火が目拔の場所を燒燼し、不幸當店も類焼の厄に罹りました。當夜貴社員一行の先導役内島社員の献身的助力には深く感銘してをります。罹災直後再建築に着手し、僅々二十日電光石火的に復舊成り、從

來の箇所に營業するに至りましたが、店舗の設計店內裝飾の考案は多少自信もありましたが、平家建とて家根看板の巧拙により貧弱ともなり見榮もするのと、又第一要件として新看板には、是非とも代表的商品を表象すべく、意匠圖案に相當苦心しましたが、フト思ひ浮べたのは、從前より保存してある、マツダのポスター、スクリーン用ポスターで其の内より一枚を撰拔し、其の意匠を用ひて看板を製作致しました處が、非常な出來榮となり人目を惹き、マツダ電球宣傳上にも効果を納めて、最初の期待に合いました。

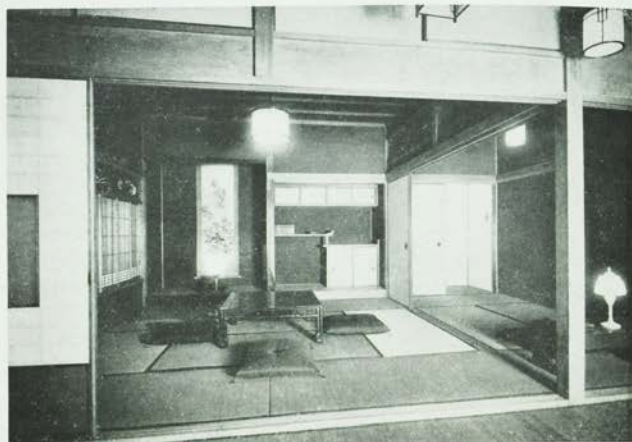


北海道帯廣町電工社御自慢の大看板

當地方一帯は北海道電燈株式會社の配電區域内に屬し、昨年五月電燈會社にて新マツダ瓦斯入電球を推奨して、大々的増燭勧誘の結果、其の効顯著しく各戸とも、新マツダ瓦斯入電球を使用し、猶白色皓々眞珠美の下に活動する街路照明は、兩側人道内に併列して、マツダ瓦斯入電球を採用せるが故に、道路面は落針一本をも見得る氣持よさ、行人は一樣に讚美と感謝の意を表明して居る事は誠に喜ばしき次第であります。

マ ツ ダ 照 校 の 一 部

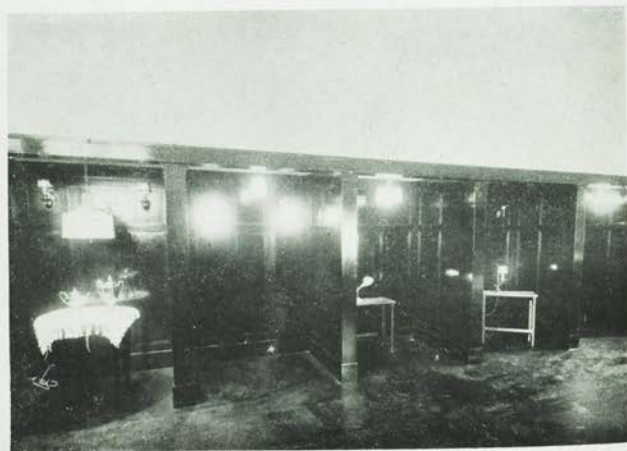
—— 住 宅 照 模 型 ——



(A)



(B)



(C)



(D)

マツダ、サン助成會合併總會の記

田 邊 生

— 昭和貳年二月十九日 —

大阪で一番大きなビルディングの樓上にあつて、大阪で一番大きな食堂であると云はれてゐる、大阪ビルの大食堂の入口に「本日午後臨時休業」と張出されてゐる。

「オヤー今日はどうしたのだ」と續々詰かける一般の人達は何れも意外の顔をする。何も意外なことはない「マツダ、サン助成會合併總會宴會場」と天井から床までたれ下げた大きな張出しが出てゐる。

「成程食堂買占とは驚いた」と呆氣に取られて歸つて行く。會場内には十數人の人が右往左往と準備に忙殺されてゐる。特に司會者から時間勵行の命があつたので、準備員は萬遺憾なき様必死となつて働いてゐる。

會場の設備が整つた頃、汗ばんだ顔をした、T氏が「そこは宜ろしいですか」と聲をかけながら受付へ來ると、受付の人は「よろしい」と聲を揃へて元氣よく答へる。準備は全部終つた唯來會者をつばかりとなつた。間もなくエレベーターが昇つて來て戸があくと「私は京都の………」と受付の前へ來て云ひかけると「あゝお名前はよく判つて居ります、どうぞこちらへ」と受付の者が愛想よく休憩室へ案内する。京都から來た、O電氣商會の主人をきつかけに

「私は大阪の………」とか「神戸からです」とか續々受付へ詰かけるの

で、受付と案内の忙しい事は迎もお話にならない。今日の會員章の

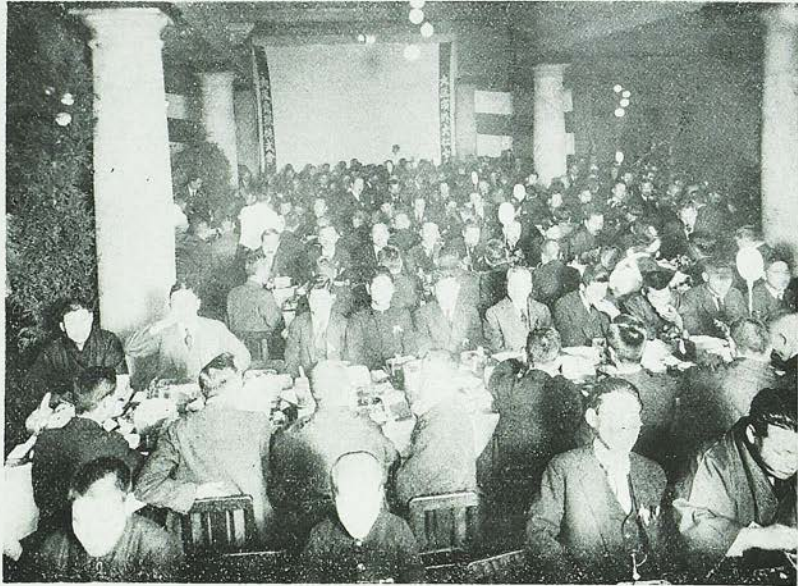


合併總會の現況

紫のリボンを胸につけて休憩室に這入つて行く。休憩室を覗くと煙

草の煙が天井を煙らして、高らかな談笑の聲が盛んに起つて居る。
「いよ／＼マツダとサンの助成會が合併ですね」

「私は是非斯様にならねばならぬと思つて居りました。マアお互



合併總會懇親會の盛況

に寄合ふて仲よくするのは良いことですな」

「マアどうぞ宜しく」「いや私こそ」とやつてゐる處があるかと思へば、

「内面艶消の話があるそうですが、之は是非聞きたいと思ひまして……………」

「その話に就ては東京からわざわざ／＼不破と云ふ人が來て居るそうですね」

「その人ですよ、内面艶消を發明したのは」と話しながらブログラムを出して共に見てゐる。相互の會員が睦まじく打とけて語り合つてゐるこの有様を見ると、形式的な會や式はもういらぬ。合併はこの休憩室で完全に出來てゐる。この雰圍氣の中に這入るのは誰でも氣持がよい、會の前途が頼母しい氣がする。

開會の振鈴が鳴渡ると何れも休憩室から出て會議室に這入る、一同の着席を待つて宅萬次郎氏先づ立つて、

「今日は御多忙なるに拘らず皆様の多數御來會下さつた事は感謝に堪へませぬ。中央マツダ助成會とサン助成會とは、その設立の當初に於て、一つの會として設立したき希望を有せしも、種々事情もあり別々の會として設立せしに、その後の狀況を見るに、各種の會合及び事業は多く聯合して之を行ひ、何等の支障もなく今日迄約一ケ年を経過したるに付、兩助成會を合併して一つの會となし、事業の發展を期するが是なりと信じ、今日迄屢々理事會及び評議員會を開き、此處に總會を開くに至り皆様の御參集を願つた次第であります」ミ一と通りの經過を述べ、議事に入る前に田村貫一氏を座長に推し度しと述べるや、賛成の聲各所に起り田村氏拍手裡に座長席に着き一場の挨拶あつて議事に這入る。

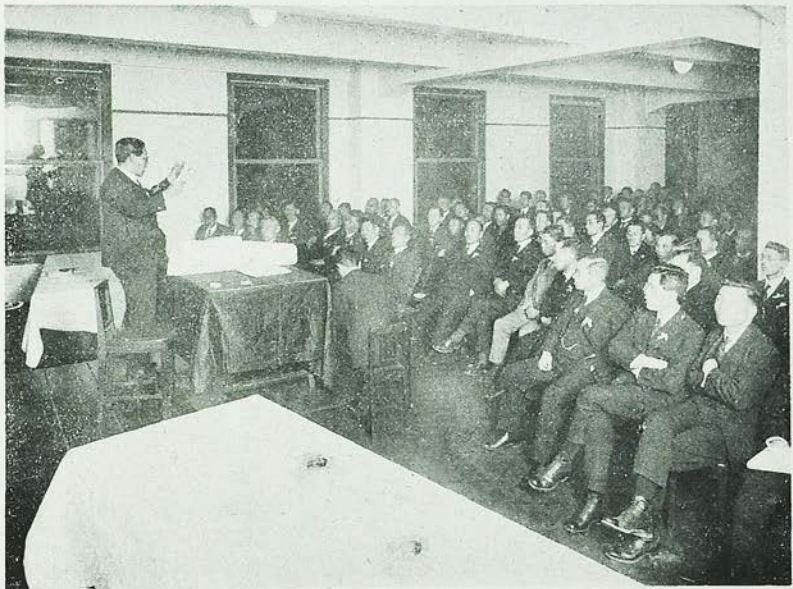
先づマツダ、サンの兩助成會合併の件を提議すれば、滿場異議なく賛成を表す。次いで會則の逐條審議に入り、各條何れも異議なく

二三質問があつたが、丁寧な座長の説明に何れも満足した。座長更めて會則全部に渡つて賛否を問ふや譯なく可決確定する。

次いで田村座長は中央小賣委員會を代表して、會長以下理事、監事、事業部委員、評議員等の役員を指名せられたが、鮮かな座長振は圓滑に議事を進行せしめ、何の滞りもなく終了を告げ、此處にマツタ、サン助成會は完全に成立したのである。



清水販賣部長の講演



不破研究所副長の講演

これより東京電氣、大阪電球、關西聯合三社主催の講演會に移り、先づ田村氏の紹介により、東京電氣の清水販賣部長、

「將來の電燈の趨勢」の題下に

「將來の電燈を説く前に過去の電燈に就て述べる必要がある、エディソンが約五十年前に電燈を發明した當時は、實用となすには未だ容易でなかつた」と電燈の發明當時から、その進歩發達の過程を述

「此度吾國で發明された内面艶消電球は、最も進歩した理想的な電球であつて、更にこれが生産によつて生ずる、製品の單純化は、今日の問題である不景氣の挽回策として力あるものである」と詳説して、話中巧みに諧謔を交へて聽衆を倦ましめず、約四十分に於て壇を下る、次いで内面艶消の發明者である不破研究所副長が立つて、

「新マツダランプに就て」と題して

「當大阪に參つて感じたことは、硝子工業が盛んで、又硝子に對する、研究の設備の充分である事であつて、美望に堪へぬ次第である」と述べて之れを前提とし、硝子の艶消に就て詳細に説明し、内面艶消の困難なる操作と、その結果の著しい事等を實物・統計等によつて、熱心に談じ一時間近くの講演があつた。それより一同新裝をこらした宴會場に這入つた。上品な照明の下に美しく飾られた食卓は實に氣持がよい、田村新會長より、簡単な挨拶ありて宴を始めた。宴會の中頃より活動寫眞を始めたが、最初は機械の調子が悪かつたが、間もなく調子が整ひ「涙の子守唄——東京電氣株式會社」と鮮やかにタイトルが寫るや一同期せずして拍手を送り、可憐な畫面の動きと、巧妙な作意に感激された。

最後に滑稽物の映寫があつて滿場を笑はせた。

かくて總會は和氣霽々の裡に午後九時散會した。

マツダ新報五月號 豫告

内面艶消電球に就て

研究所副長 不破橋三

照明經濟大意 (二)

副參事 内坂素夫

静岡電氣展覽會

東亞博覽會

全國産業四國博覽會

鹿兒島電氣會社高燭勸誘結果報告

灯の誘惑

水守龜之助

春燈異抄

佐藤惣之助

電球に照らし出された浅草の女

結とあ指月

一、色電球の合圖

だれ子さんと云ふ大丸髷に、赤い手柄の美人が、浅草の橋場にゐた。

隅田川に沿ふた家で、お庭の松の植え込みに、赤い蟹が出たり、川に向つて裏木戸があつて、舟で来る人は、その木戸を叩いて、その家を訪れると云ふ。大そうどうも、風流な家に、その、だれ子さんは住んでゐた。

と、話ただけでは、この、だれ子さんは、舊文明に生きてゐる、所謂、行燈式の美人で、新文化に活躍する電球式の美人ではなさうにきこえるが、なか／＼もつてさうではない。

この、だれ子さんが、アメリカへ渡るときには、お琴を四挺、三味線を五挺、その上に三本のお長持のなかへは、縮緬の夜具蒲團から、友禪のお寝巻から、緋のおしごきに至る迄、何から、かに迄、一切入れて、行つたので、流石、アメリカの官憲も、これは日本のプリンスが來たのかと思つて、調べもしずに上陸したと云ふ程だつた。

だが、だれ子さんが、アメリカから歸る時には、その髪を、ボイント型にバツプして、銀箔をのばしたやうな薄い長いスタツキングを召して、二千弗もするやうな黒貂の毛皮のなかにくるまつて、日

本語などは、まるツきり忘れたやうな顔をして、歸つて來たものであつた。さうして歸つて來た當座は、帝國ホテルにお泊りだつたが、何を、どう、お感じになつたか、折角バツプした髪を、また、のばして、洋服なんぞは、さらりと捨て、濃艶無比なる純日本式奥様におなりになつて、お住ひも、純日本式とあつて、その橋場のお宅へと、お引き移りに相成つた。

だが一度、西洋の水と火を潜つておいでになつただけあつて、同じ大丸髷に、赤い手柄をかけても、それがなんだか、素的にハイカラに見受けられた。

「みとや！ 今夜はねエ、お座敷のデンキの球を、赤にとりかへておくれよ、空は雲つてゐるし、風は寒いし、何んとなく陰氣だから」と、奥さんは、これも西洋へお伴をした洋行歸りのお女中に命じた。

「はい！」と云つて、お女中は、御座敷の珠を赤にかへた。

だれ子さんは、中庭の廊下に、艶消しの夢のやうな新マツダランブをつけて、その障子の外に立つて、

「ちよいと、みとや、來て御覽よ。この新マツダの白い乳色の光を透して、障子のなかの御座敷が、バツと赤い光のなかにあるところを御覽！ ほんとに、ドラマテックではなくつて？」と、おつし

やつた。

「ほんとうに、お芝居のやうで御座いますね。」と、女中は、ばつを合はせた。

舟で隅田川を通るものは、このだれ子さんのお宅の障子が、眞ッ赤に染まつて、それが、こう、何んとなく、色ツぼい感じを與へるのを見た

「おい、辰さん。こゝだ、ボートを、その棧橋へつけておくれ。」と、男の聲がして、裏の木戸を叩く音がする。

だれ子さんは、庭下駄をお召しになつて、御自分で木戸を明けて、「あら！」チュツ！と、妙な音がしたが、それは、日本の音ではなかつた。

「どうも旦那、有り難う御座いました！」と、水の上から聲がして、ギアスリンボードの音が、その棧橋から離れると、

「やア、御苦勞様。」と、その男は川の方へ聲を投げたが、二つの黒い影は、松の植込みのなかで、しばらくは動かなくなつた。

その後、一週間程たつたある晩のこと、だれ子さんは、いつものやうに廣い廊下の新マツダランプの下で、長椅子によりかゝつて、新刊の演藝畫報をみてゐたが、ふと、お座敷を見ると赤い赤い光が障子にうつてゐるではないか。

「あら、また、おまへ、今夜も赤い球をつけたの、今夜は月もあるし、それに、いやに、ぽか々々暖かいぢやないの？、今夜みたいな晩に、赤いデンキの下にゐると、色氣違ひになりさうだからよしとおくれよ。今夜は青い球をおつけよ」と、女中に命じた。

「はい！」と、お女中は、御座敷の球をマツダ畫光電球にかへた。「みとや！ここへ来て御覽よ。この新マツダの眞珠色の柔かな

光を透して、澄みきつた青いデンキのなかに照る御座敷を見ると、なんとなく心持ちが、すつきりとしてくるわね！」とだれ子さんが、おつしやると、

「ほんとに、ドラマチックで御座いますわね！」と、お女中も、なか／＼隅へは置けぬ。

だが、その晩に、裏木戸を訪れた男は、いつもの男ではなかつた。だれ子さんの旦那様といふのは、ある子爵さんださうである。だれ子さんよりは、三十二三も年上の、もう六十にもならうと云ふ白髪のお老體であるさうで、一週間に二三度しか、この橋場のお宅へは見えぬとの事だ。

「あの、今晩は、御前は、お見えにならぬとお電話でございましたが、御座敷の球は赤にしましやうか、それとも青にしましやうか？」と、女中は尋ねた。

「みとや、おまへは、たいへん氣がきくねエ。だが今夜は、あたしは帝劇へ行くからね。おまへ、なんなら、黒い球でもつけたらどう？」と、だれ子さんは答へた。

「あら、奥さん、お人が悪い！黒い球だなんて、だんまりの場を勤めるのならいさ知らず！」と、女中が云ふと、

「でも、おまへ、わたしの留守に、おまへの濡れ場を大びらでやられては、こまるからねエ！」と、流石は、だれ子さん、その點に、ぬけ目はなかつた。

二、夜光のチエイン

浅草公園の宮戸座の向ふ裏の、一米とか云ふ待合の抱えに、一名、やに子さんと云ふ藝者がゐた。

この妓は烟草道樂で、烟草のけむりが絶えてしまつては、氣が沈

んで、三味線もひけなければ、唄も一つうたへないと云ふ、厄介な奴なので、誰いうとなく、その藝者に、やに子さんと云ふ紳名をつけた。お座敷へ出ると、「今晚は」と、云ひながら、もう、帯の間から、銀の巻煙草入れを出して、パチンと云はせながら金口の煙草を一本吸ひつけて、「どうも、有りツ！」と、云ふときにはお鼻の孔から、白い煙が、二本そろつてしゅつと出た。

「おや、まア、お久しぶりなのねエ！近頃は、彼女のところへ、ばつかりで、こちらへは、もうなんですの、おまはりになるタイムもないと云ふわけなの？」と、文化式の殺文句を云ふうちには、この火鉢の灰の上に、金口の吸ひかけが、づらりと並んだ。お客は、全く、文字通りの意味に於て、すつかり煙にまかれてしまつた。

と、取り出す、今度は、金の巻煙草入れ。それをパチンと云はせると、銀口の吸ひ掛けがづらりとチャブ臺の前に並ぶ。その次は、鼈甲の巻煙草入れ。帯の間から、取りかへ、引きかへ、まるで、手品つかひのやうだ。

この、やに子さんは、寝る時でも煙草は、はなせぬ。部屋のなかから煙草の煙がなくなると、どんなによく寝てゐても、目がばつちりと明いてしまふ。で、枕元には、いつも、マツチと、煙草盆が、用意してあるわけだが、この、やに子さん。暗いところで煙草を吸ふのは大きらひ。「暗いところで煙草を吸ふと、人の、のろけを聞いてゐるやうな氣がして、ほんとに身にならなくつてよ。」と、いつも、その、てよに力を入れて話した。ちよいと、灰を叩いて落す指先と、輪になつて巻きあがる白い煙が見えなくつては、やに子さんは、煙草を吸つたと云ふ氣持になれないさうである。

と、云つて、夜つびて枕の脇でデンキの球に見張りをされては、

寝てゐる顔を、いつも誰かに見られてでもゐるやうで、寝にくくつてたまらないし。ことに、デンキのメートルが、まはり過ぎて、抱え主の、一米の女將から、お目玉を頂戴するのも、まことにつらい。そこで、やに子さんは考へた。こゝには、きつと、どんな暗い部屋のなかでも、どこにデンキのコードが、さがつてゐると云ふ見當のつく仕掛けがなければならぬ。

コードの先へ、紐を結んで、それを枕の下へはさんで置いたので、は女中が来て、けつまづいて、コードぐるみ、切つてしまふ。螢籠をコードの先へぶらさけて置いたらと云ふ名案を考へ出したが、その螢は、夏でなければ間に合はない。しかたがないから、やに子さんは、寝巻のまんまで、毎夜、二度か、三度づつ、コードはどこにあるだらうと、やアとこせいを踊つてゐたが、このことを、聞いた貫ちやんと云ふ色男が、

「それにはいゝものがある。夜光鎖と云ふものがある。その鎖は、闇のなかでも、ラデムムの蒼い光を放す。だから、いざ火事と云ふときにも、マツチをさがしたり、柱に頭をぶついたり、店紙をぶちぬいたりするには當らない。ばつちりと目を明けば、どこにデンキの鎖、即ち、コードがさがつてゐるといふことが、すぐにわかる」と、親切に教えてくれた。

やに子さん、すつかり悦んで、早速、その夜光の鎖を買つて、とりつけて見ると、とつても工合がいい。たゞ、驚いたのは、お猫さんで、いつ來て見ても、くらやみのうちに、びかりと蒼いものが光つてゐるので、それに飛びつかうとして、やに子さんの、枕元の、煙草盆を蹴飛ばして、大騒動を起した。

そこで一米の女將は、翌朝早速電氣屋さんと呼んで、何かよく

ふうはないかと尋ねた。

すつかり呑み込んだ、電氣屋さんは、一度家へ歸つたが、何か持つて来て、やに子さんの寝る部屋の押入のなかへもぐり込み、しきりに、こと／＼やつてゐたが、やがて、コードを出して、小さい婦人用のスタンドを備へつけた。

「これなら、もう大丈夫です。」と、電氣屋さんは得意である。女将はすつかり感心した。

その後間もなく一米では、家中のどの部屋へも、みんなスタンドを備へつけた。

そこで、遊びに来る客仲間では、一口に、一米のことを、「スタンド、スタンド」と、云ふやうになつた。

三、電球をこわす女

はね子さんは、千束町の路地をらよいと左に曲つた、とりつきの或る部屋の狭いカフェーの女給さんと、鶏の羽根のハタキでもつて、デンキの球の座をとるのが、くせだつた。

はね子さんは、シャクマのやうな縮れツ毛を、桃割れに結つて、かけた白いエプロンの前に、赤い鉛筆を、ちよいとはさんだ、とツても、すてきな女給さんだつたが、しかし、どちらかと云ふといけな一方の女給さんだつた。

はね子さんは、鶏の羽根のハタキでもつて、デンキの球をくすぐるたびごとに、いつでも、はいやいで、ケラケラ笑つた。アハハと笑つた。さうして、

「ほんとに、いけすかないねエ！」と、いひながら、ハタキで、ぽんと球を打つた。球は、轟然一發、こつばみじんに、こはれた。

「アハハハツ」ハハハのハと、はね子さんは、おなかをかくえて

笑つた。

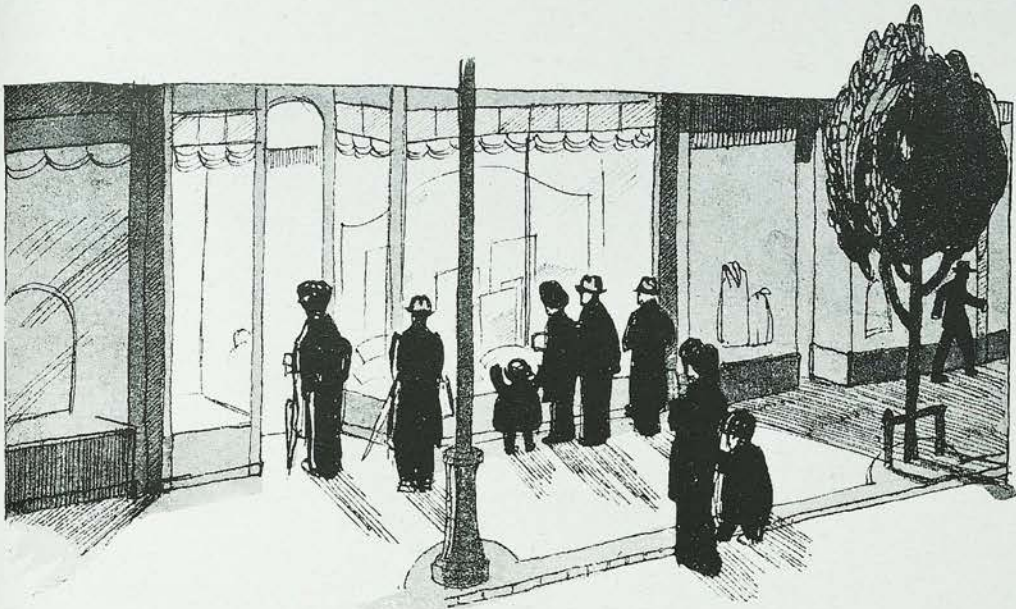
デンキの球が、なぜ、いけすかないのか、それは誰にもわからなかつたが、球の毎日、こはれるのを見て、カフェーの亭主は、へこたれた。と云つて、はね子さんを追ひ出したのでは、來なくなるお客も少なくないわけなので、まア、デンキの球ぐらゐは、安いものだからと云ふ理由のもとに、はね子さんを、相も變らずそのカフェーの、花とあがめて使つてゐた。

だが、亭主は考へた。ここには、何か、當つても、打つてもなかの、こはれない、さうして、ボンと爆發しない球があるに違ひないと思つて、デンキ屋さんに相談すると、デンキ屋さんは、

「ありますよ、新マツダ瓦斯入り電球、新茄子型と云ふのは、打つても叩いても大丈夫です。何んなら、それへ、ニツケル製の金網をおかけになつたら如何です」と、答へると、

「えてツ、さう云ふ球がありますか、金網をかけるとは、妙案ですなア！」と、亭主は、すつかり感心して、そのカフェーでは、球は全部新マツダの瓦斯入りにして、手の届くところや、人の額のぶつかりさうなところの球へは、ニツケル製の、綺麗な網をかけた。網掛けの新茄子型と云ふ球は、日本では、まつたく、これが始めてだつた。

はね子さんは、相變らず、その球を鶏の羽根のハタキで叩いたが、今度は爆發しないので、とう／＼癩癩を起こして、エプロンに網ごとその球を包んで、膝のあひだで押しつぶした。尤も爆發の音で、はね子さんは目をまはしたと云ふ噂だが、如何に、マツダのランプでも、魔性の女の、やはらかい、膝のあひだへはさまれては、たまつたものではなかつたであらう。



マツタ助成會主催

第二回陳列窓裝飾競技會

大正十五年十二月十八日より五日間、マツタ助成會員の第二回陳列窓裝飾競技會を開催致しました。

陳列窓の裝飾は、近年著しく進歩し、其の裝飾の大切な事、販賣上の効果等に就て、多數會員各位の了解される處となり、その研究は愈々進歩し、大なる期待の下に、第二回陳列窓裝飾競技會の火蓋は切られました。

折しも歳末に近づき、店務多忙の折柄斯くも熱心なる努力により、多數の参加者を得ましたことは、我等一同の欣喜に堪えない所で御座います。

茲に入賞者發表を機とし、再び募集規定の概要を抄録し、應募者諸氏の記憶を新にすることに致しました。

一、陳列規定

主とすべきもの

新マツタランフ

新マツタ瓦斯入電球

従とすべきもの

無線電話用受信機サイモホン、サイモトロン

東京電氣會社製反射笠、電燈器具、ソケット、ホルダー其他

二、採點

注意を惹く力

陳列裝飾技術

新マツタランフ又は瓦斯入電球を主題として其の特性の説明宣傳方法

二五點

二五點

五〇點

三、賞金
 拔群賞 一名 金五拾圓也
 副賞フエーガン優勝盃
 優等賞 三名 金參拾圓也
 進歩賞 五名 金拾圓也
 有功賞 若干名 褒狀及記念品
 右の規定に基き、審査を左の四氏に托しました。



陳列競技會審査員(前列左より小西先生、井關先生、松野先生)

入賞者氏名
 審査長 明治大學教授 實業界社長 井關十二郎先生
 審査員 東京商科大学教授 石川文吾先生
 審査員 慶應義塾大學教授 松野喜内先生
 審査員 東京電氣株式會社 小西彦麿先生
 照明技師 照明技師

拔群賞 (一名)

本郷區本郷二ノ十八 鈴木電氣商會 海老沼啓助

優等賞 (三名)

芝區西應寺町三七 松尾商會 松尾伴三郎
 荏原郡大崎町桐ヶ谷八〇 本城商會 本城勝治
 神田區金澤町二五 遠藤電機商會 遠藤生助

進歩賞 (五名)

四谷區忍町十八 丸電工業所 手塚信一
 芝區三田通り 入山硝子店 入山一朗
 澁谷町元廣尾八七 旭電氣商會 亘昇
 芝區神明町 森田商會小賣部 牛山隆晴
 小石川區竹早町二 清水商會 清水治作

有功賞 (三十二名)

芝區仲門前 森田商會 堀越廣
 本郷區本郷二丁目 渡邊電氣商會 渡邊幸太郎
 神田區小川町一八 本庄商會 小野塚忠一
 日本橋區人形町通 北上電氣商會 北上善次郎

本所區小梅業平町

大森不入斗三五二

王子町十條一、四七五

牛込區藥王寺町九

牛込區榎町二四

芝區片門前

神田區錦町三ノ四

大井町二、一三五

麴町區三番町

深川區西森下町三八

京橋區新佃西町二ノ二四

大森入新井町不入斗六七三

大井町三、四一一

日本橋區小傳馬町二ノ八

中濠谷三〇二

高田雜司ヶ谷五〇

小石川區小日向水道町

日本橋區蠟燭町一ノ四

芝區片門前一ノ五

府下中野二三一〇

牛込區着町一三

神田區富松町七

中濠谷町七九三

小石川區久堅町五八

日本橋區南茅場町

御山商店

西谷電機商店

日曜堂

西野電機商會

増尾商店

共和電氣工業所

木下電氣商會

濱田商店

千代田商會電氣部

石川商店

篠原電氣工業所

森田商會

櫻本硝子店

若生電氣商會

野澤電氣商會

武藏電氣工業所

妹尾商會

山岸久米藏商店

園部商會

千代田電氣商會

本田商店

加茂商店

南雲電氣商會

美濃電氣商會

小川電氣店

御山治助

西谷兵吉

榎本小助

西野末次

増尾符次郎

金田吉造

木下秀里

濱田篤太郎

木野富次郎

石川甚評

篠原慶策

森田茂一

櫻本正吉

矢部蝦夷二

野澤清三郎

古川平太郎

妹尾圓次郎

山岸久米藏

園部光

木野幸三郎

本田寅

加茂勇吉

南雲郡司

加藤房次郎

小川信吉

四谷區花園町九八

下谷區上野廣小路

品川町北品川五六

押尾電氣店

春日電氣商會

田口商店

押尾晴明

荻野隆居

田口昇平

以上

審査概感

審査長 井關十二郎
明治大學教授

(一) 總體の感じ

前回に比し、今回は加入店數が少し減つたやうであるが、夫れは歳の暮に逼つての急の催しとて無理もない。しかし加入店數の減少に反して、その實質の向上したことは驚くべきである。夫れで陳列効果のサーキュレーションから云ふと、今回の方が餘程有効であつたと云へる。加入店の殆ど總べての陳列が一様に揃つて、殆どクズを見なかつたからである。

此の點から見ても、前回に比して今回は著しい進歩を示したことが判るのであるが、それを一つ一つのウキンドウについて見ると、その進歩は特に目立つてゐた。世界一に電氣利用の發達してゐるアメリカの電氣器具店でも、今日なほ洋品店や其の他に比して、殆んど比較にならないほどの貧弱さと幼稚さがあるに拘はらず、助成會員諸君のウキンドウが、斯くの如く揃つたといふことは、本邦のウキンドウ陳列界から云つても、大に意を強うすることが出来る。

其の詳細なる講評や、個々についての批判などは別に譲り、こゝには單に大體の感じの一二を述べることにする。

(二) 審査の三標準

今回は採點標準を左の三つとし、而して前回よりも少しづつ、其の標準を高めることにした。



會商電氣鈴木 郷本 賞群拔

- 一、注意を惹く力……………二五點
- 二、陳列裝飾技術……………二五點
- 三、新マツダランプ又は新瓦斯入電球を主題として其の特性の説明、宣傳方法……………五〇點

第二の標準には、陳列の原則、裝飾の原則、配列の原則、照明の原則など、多數の要件を含んでゐるのであるが、特に第三の標準は、ウキンドウ陳列の生命とも云ふべき訴求方法であるから、夫れだけ實際も六ヶ敷く、かつ工夫を要することになる。

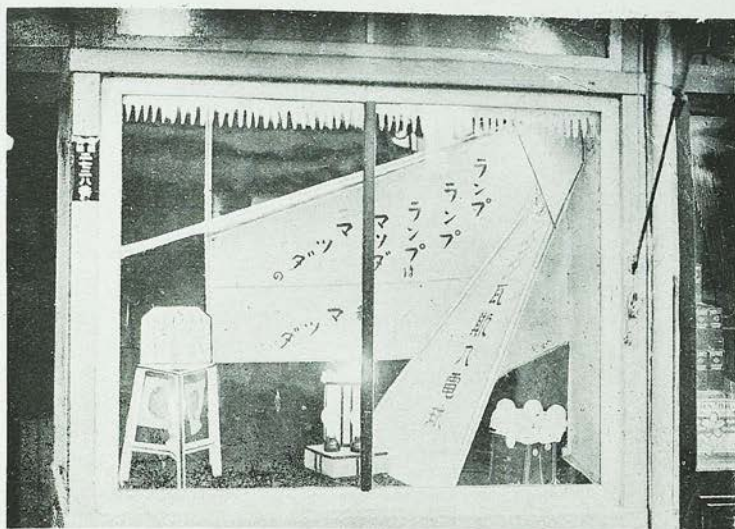
第一標準は今回も非常に能く出来てゐた、第二標準も前回よりは餘程進歩して要領を得て來たことは喜ぶべきことである。従つて多くの費用を要せず、販賣に殆ど縁のない作り物にもならず、簡にして其の強さが加はり、印象と刺戟との上に働く力も増して來た。實に可い進歩の過程にあるといへる、ウキンドウ陳列による販賣増加は、斯くして初めて目に見えて來るのである。

最も大切な第三の標準は、随分骨を折つて居られ、その點については吾々は寒風中の審査の苦痛をも忘れるほどであつたが、未だ十分といふ程度には行かなかつた——今後の主なる研究は最早や此の最後に進んで行くべきであらうと思はれる。就いては、少し左に此の第三標準のことだけ記して置く。

(三) 訴求及び宣傳方法

一、カード——品質特色効用などを簡潔に記したカードを添飾することは、訴求方法として非常に有効なものであるが、今回は此カードは殆ど總べてのウキンドウに用ひられ、而して文句もナカ／＼能く出来てゐたものが多かつたが、矢張り全然用ひない店や、野に山的の抽象文句のものもあつた。總體を通じて、今少し此のショウカードを大きく且美しくする必要がある。本郷の鈴木電氣商會が、このカードの他に、兩側のパネルを利用して『内面からの艶消しで』

と『特に明るく汚れない』との二特色文句を記したなどは特に可い。又バックをカードに利用することも悪くはなく、澤山あつたが、それは出来得るかぎり力強い單句を大きく入れ、カードは矢張



優等賞一席 芝松尾商會

り必要である。

二、バック——色彩なり、構造なり、又は程度なりは、今回も非常に適當に出来てゐるのが多かつたのは悦ばしいが、寒い最中に雪模

様の特に多かつたのは考へものである。反對に盛夏のウキンドウに何人も特に暑くるしい裝飾はしないで、涼しいやう／＼と考へるを思へば、寒中の陳列に雪を應用することは全く反對の考へである。ストーヴの如きものなれば外面を寒い、積雪屋内を温かく見せるのも一つの暗示であるが、今回の條件は電球であるから、其の特色を示す何等の暗示にも訴求にもならない。むしろバックは黄等の暖色を用ゆべきであらう。

三、コンテナ——會社から配布してあつた二種のコンテナ、即ち婦人がマツダランプを持つてゐる原紙の切抜繪と、箱型の電球差しとは、總べての店が忠實に利用してゐたのは、甚だ結構であるし、陳列の上にも、訴求の上にも、多大の便宜を與へてゐたが、夫れが或はカードと、或はバックと巧く聯絡してゐる陳列が割りに少いやうであつた。又中には、その婦人の紙人形の方が、全く方向を無視してウキンドウの左右何れかの一隅に置かれてゐるのが、隣りの店の入口に接近し、かつ其の方に向いてゐたことなどは注意すべきである。

四、商品の密集——一つのウキンドウ内に一つの品を多數集めて陳列することは、即ち注意を惹く力を増大すると同時に、印象を深め、而して暗示を與へることも大になる。そのために多くのマツダランプが積上げられて小山をなしてゐたのが可なりに多いやうであつた。例へば本郷の鈴木電氣商會の如き、桐ヶ谷の本城商會の如き、なほ他にも多々あつたが、その積み重ね方には何等の技巧がなかつたので、此の壊れ物を見る觀者には、何となく危険の觀念を與へる

上に、少しも美しい感じが起らず、一種無氣味の感じが一番強く働くので、これは大に工夫を要する。一つの品を多く陳列せんとせば、一ヶ所に固めないで、空地をつくり二三ヶ所に分けると、實に美しくなり、而して品数を多くして注意を散亂せしむる缺點を防ぎ得るものである。同じ一ヶ所に多く積んでも、芝の森田商會の陳列の如きは、その形に於ても、積み方に於ても、よく出来てゐた。この方は箱入のまゝであるから無氣味又は危険の感じも極めて少い。

五、其の他——横書きの文句の書き方、空間の利用、無常識、或は今一息で著しく効果の多くなる（例へば芝松尾商會の陳列窓の如きは形式に於て拔群であり、色彩で少し其の價値を損した如き）ことなど、多々述べたことがあるが、それは次の機會に譲る。

第二回陳列窓競技會と感想

慶應義塾大學教授
マスタール・オブ・アート

松野 喜 内

マツダ助成會が、第一回陳列窓競技會で、多大の成績を挙げられ、今又其第二回を開催されるに至つたことは、斯界の爲めに祝福すべきことである。これがスウキツチとなつて、小賣店と本社との連絡もよく行はれ、店主が陳列窓に興味を持たるゝやうになつたことは、著しいものであるとのこと。熱心が新工夫を生み、販賣能率が倍加したと聞いて、吾人は其効果を喜ぶと共に、ショーウインドー研究が、小賣店にとつて、如何に大切であるかを認めずには居られない。

震災後の復興氣分と相俟つて、陳列窓の新設、改造、裝飾方法の

研究と進歩は、誠に新興國氣分を表現してゐるといふべきである。單調な電球を陳列の目的として居るので、工夫もなか／＼容易でない。しかも此困難なる電球陳列に其技を競ひ、其腕を磨きつゝあるは新進文化の商店界にあらすば、見られぬ場面である。

最近日本の廣告界は、あらゆる媒體に於て著しき進歩である、小賣商店にとつては、陳列窓は顧客吸引の磁氣であらねばならぬ。お客が進んで、店に入つてくれる、買つてくれるといふ迄には、何うしても、此陳列窓を活かして働かせ、陳列技術の宜しきを得ること、注意價値あらしめること、訴求、誘導の要領を得せしめることに努めねばならぬ。

今回の陳列窓競技會に於ても、よくこれ等の要件を考慮して、
(一)注意を惹く力、(二)陳列技術、(三)主題としての新マツダ化運動を主眼としたのであつたが總體に於て、進歩著しきを喜ぶものである、其多くは、餘り大した費用を、かけないで、巧みに此の三つの要件に叶はしめやうと努められたことは、廣告費と其効果測定を提唱すべき今日として、實に敬服すべき着眼點である。此點に成功してゐるのみならず、技術的にも、合理的にも、細大を觀察して、参加店各位の努力と結果に、多大の光輝を感じずには居られない。

之が動機となり、刺激となつて、今一段の研究と新工夫を凝らされんか、將來の進歩には驚くべきものがあらう。東京から名古屋へ刺激の波を打ち、名古屋から東京へも、といった調子に、各地互に比較競争の結果は、工夫が新工夫を生むことゝなつて、其實績も上

り海外に紹介して耻しからぬ、ショーウインドウも現れることであらう。

三大主眼の中、別けても表現せしめねばならなかつた、新マツタの説明宣傳に就いて、最も明確であつたのは、寫真にもある通り本郷鈴木商會であつた。『内面からの艶消で』『特に明るく汚れない』『新マツダランプ』の文字が太く大きく左右と下方とに配置してある。且つショーカードに、細字で「世界的大發明新マツダ瓦斯入電球をお勧め致します」「お値段は普通の電球に異りません」とあつた。新マツタを燈しての實物宣傳もよろしかつたが、更に新舊比較の工夫照明の對照あらしめたらばと思つた。又新マツダランプを澤山積み重ねて、崩れはせぬかとの不安を感じしめぬやう枠に入れるなど一層の工夫を要することと感じた。

松尾商會の放射線に『新マツダ瓦斯入電球』『ランプ、ランプ、ランプはマツタ、マツタの新マツタ』を太く大きく放射型に現はし、且つ、ショーカードに『世界的發明の先驅内面艶消電球、東京電氣會社の製造する新マツダ電球であります』と記され、若干の實物電球を配置したのみであるが、極めて簡單に、費用もかけずにも目立つての工夫であるから、陳列技術上からも相當の成功であるが、バックの色の配合をもつと考へたら一層にハツキリと、新マツタを放射し得たことであらう。太陽のスペクトルから類似色を考へ出す研究、其組合せ如何によつて主題が上品に、美しく、且つハツキリと現はせることであらう、餘色の配合によつて、視神經の刺激を平均し、快感を覺えつゝ見ることになる。特に夜分の照

明廣告とあつて、色の注意は、一層の注意を要することであらう、此場合の如き赤と緑を適當に用ふることによつてもつと引き立つのではないかと思ふけれど、尙此點は色彩に關する専門家宮下教授などの研究指導に俟つことにしたい。

「天ニ星」「地ニ新マツタ」を太く大きく、ショーカードに「シン



優等二席 桐々谷 本城商會

ジュノヨウニキレイデ、アカルク、マブシクナイ。デンキノイラヌシンマツダランプ」とありしものも一考案であつた。

本城商會の、ショーカードは善く出来てゐた『内面からの艶消で特に明るく、光を吸はぬ、新マツダランプ、新マツダ瓦斯入電球。▲壁に汚れず眞珠の様な柔らかな、美しい光の格好よい、新しい内

面艶消電球。▲艶消であつても明るさは硝子が透明のときと同じ。
▲こんな、より良い、より經濟な電球であるに拘らず從來の電球と同値」然しセーリングポイントたるべき『新マツダ瓦斯入電球、新マツダランプ』の太文字が横書きであつたのは何うか、一體横書きは、日本では左から讀むのと右から讀むのがある爲め、讀む人、見る者をして、逆に讀まれて笑止千萬のこともある。文字の書き方に關する規格統一、を叫びたいのである。少くとも讀み易からしめるやう文字の配列を工夫することは廣告にも、必要なことである。斜めに配列の如き一策である。實物電球の種別的配列はよろしいが、多量山積みにして崩れ易く思はしめたのは惜しいやうに思つた。

外にも夫々、「新マツダ、新マツダ瓦斯入」の主題を掲げたり工夫してあるのもあつたが、大して注意を惹く迄になかつたのは、文字の太さ、太さ、位置、配置、等にもよつたことであらう。

『繁昌を支配す』の文句も結構だが、私はもつと『新しい電球』『進んだ電球』『進歩した電球』『世界に誇るべき電球』東京電氣會社の『特許(3221)』『マツダ、マツダ、何をマツ、新マツ繁昌客をマツ』などを加へたら如何かと思ふ。

神田の遠藤商會は『内面艶消、放光軟化、眼の衛生に明るく強い。萬物照明、すべてを美化す』と書き、狭き場所ながら、幕を利用して、場面を飾り、色々のマツダ電球を巧みに配置されて、明暗の度と、點滅の裝置が、小劇場的に出来てゐた、随分熱心に考へたものだと思つた。

點滅的に『新マツダランプ』を文字の順に照明書きされ、飛行機の光と、電光と對照したのもあつた。同じ點滅式にしても、文字型でなく、括弧型にして、幾重にも區劃したのもあつた。私はこれを更に考へて、新舊マツダの照明比較に活用したらばと思つた。

動くものを置いて、注意を惹かうとする裝置は、少かつたやうであるが、これは單に大勢の通行者を窓の前へ集めたといふだけに終らしたくない、買つて下さる客を吸収したいからといふ考へが進んで來たためであらう。

クリスマスの季節を利用して、随分とサンタクロースが作つてあつた。中には小供の寢室、夢の世界をバックにして雪の夜途に、提灯代りとして、新マツダの電球を燈し、良い途を御案内の體にて『良い新マツダ御紹介』の場面など上出來に見えた。

又クリスマスツリーに、新マツダの電飾を施して、見事のものもあつたが、主題新マツダを文字に現はして注意を惹けば更によかつたと思つた。

或は好奇心を利用することに、着眼して、珍らしい新マツダを、見せ物のやうに覗き込むやうにしたものも二、三あつた。此種の工案にも更に工夫を加へたならば獨創的の案が出來ることであらう。

電球をヘチマの如くに吊り下げたところもあれば、箱入りにして側面から見せてあるのもあつた。實物電球の陳列には何處も苦心されたやうだが名案が出なかつたらしい。

中には又、廣く大きな陳列窓に、球や飾りや、澤山過ぎるほどいろ／＼並べたため、注意が散じてその焦點を失ひ、肝心な目的

たる主題が何處にあるかに苦しむものもあつた。入山商店のやうに、簡単に、短冊型に縦のラインをハッキリ出して注意を惹き、之に文句を書くのもいいことであるが、主題となるものを文字上にも、もつと大きく現はしたかつた。

私は皆さんの種々なる工夫に感心し、面白く拜見したところも随分あつたと思ふが、もつとショーカードに對する注意が欲しかつたやうにも感じた。電球の發明も新マツダの完成も、科學的研究の結果であるから、此點を説明するは新マツダ化運動として必要なことである、新品に對する信用を識者に與ふるには、格別の材料であると思ふ、私案によれば

新舊マツダランプの壽命比較

(技師の實驗)

舊一箇五ヶ月持つとせば
新は七ヶ月

米國では、大正十四年三月二十四日ビ氏内面艶消の試験發表
日本では、同年同月十九日既に完成

透過率に關する新舊比較

(新) 内面艶消 九八%
(舊) 外面艶消 六〇乃至九〇%

内面艶消は透明球に比して

光度及び能率に遜色なし。

而も輝度小なる爲め眩しからず。

輝度に關する新舊比較

内面艶消 25・透明球 200

即ち眩しさは八百分の一となる。

フーグアーの言

『新マツダと生産費の減少』

『消費節約』

ランプに就ての無駄

塵が積つて黒くなつた電球は

最初より四割も燭力の減つてゐることがある。

内面艶消にすれば

外面に塵のたまふことも少い。

笠を取り代へて、深くするか又は入用の方角に光線を集めて、

十六燭が二十四燭の明るさを持つ。

商店の電燈、

明るい町は賑ひ、明るい商店は繁昌する

電燈の倍加は客の倍加、

電燈がふえたら、賣上がふえ。

電燈が明るくなつたら、儲けも光る。

商店の照明は家庭よりも三倍——七倍に!!

一疊につき

店內は 二〇——五〇ワット

陳列窓は 一三〇——二七〇ワット

夜間注意を惹く第一は、店内と陳列窓を明るくするに限る

『近視眼防止にも照明の適度を要す』

なども、其意味を巧みに現はしたいものである。

第二回陳列窓裝飾競技會に就て

東京商科大學教授
商學博士

石川 文 吾

此度マツダ助成會の催ふされた陳列窓の裝飾競技を審査した揚句私の得た印象の第一は參加の凡ての店が、甚だ大なる意氣込みで、



商店山御 芝 席五賞有功

努力の籠つた陳列振りを見せて呉れた事である。元來美術品と違ひ陳べて特に榮へぬ電球の事であるから、結果如何かと思つて居たが

案外に上出来であつた。只二三の店では、吾等から『お立派に飾付が出来ました』との挨拶に對して『否えほんの子供等の仕事であります』などと答へて、大人として斯る事に力を入れることを愧づるかの如くに見えたのは遺憾である。

或店では儘に其向きの人に飾付を頼んだらしく見ゆるに拘らず、強て業務の間の餘技に過ぎぬと述べて、表面事もなげに輕視するを誇とする如き調子のあつた點も賛成出来ないことである。

會社から供給される背景や切抜人物を特に工夫なく陳列した結果、全然同案に了つた裝飾が三四あつた事は、宣傳のためには差支ないとしても、吾人審査の任にあるものを失望せしめた。以下審査の各要件に就て記憶を喚起しつゝ卑見を述べることとする。

一、注意を惹く力には中々適れた趣向があつた。或ものは細工の微密な點に於て容易ならぬ苦心を認め得たが、是が果して注意を惹く上に力ありやは疑問である。例へば一面の雪景色の家屋を作り、其の開かれたる窓を通じて室内を窮ふとベットのの上に小兒が安臥して居つて、壁間にはその小兒の作とも見るべき、マツダランブ禮讃の辭が認められてゐるが如きは、まことに善き思ひ付きではあるが元來十平方尺内外の窓であるから、以上の道具建では、自然餘りに小さくなつて道行く人の注意を集める事は不可能である。今度、雪と人物を扱つた窓に、入選者の多からぬは此理由に基く處少からぬと信ずる。

松尾商會が、天の一角から黎明の曙光の閃きを示したのは面白い着想である。併し若し背景を黒くして、電光の如き形を現はし、光

の道を金色にしたならば、結果は一層の事と思はれる。鈴木電氣商會では窓も立派であるが、點滅燈を巧に使用して行人の足を停めたのは慥かに白眉である。

二、陳列の技術も技工に過ぎて、却て効果を害せりと思はれるものもあつた。例へば雪の中に筍の如く、電球を並べたものゝ如きは感服せぬのである。尙背景の思案が凝り過ぎて、電球と何等關係なき役者の似顔繪を陳列した店の如きも失敗である。サンタクロースを使用した店が數多あつたが、是はクリスマスを表徴し、冬の夜長の寒さを聯想せしむる點に於て、電球や電氣ストーブの背景には當を得て居るが、外國のクリスマスの氣分を味つたことのない人々に對して、果して斯る印象を與へ得るかは問題である。某店が澤山のサンタクロースを背景中に描き出したのが、格別目障りにならなかつた事を思ひ浮べて一層この感に堪えぬのである。

鈴木電氣商會が、澤山の電球を無造作に盛り上げて、看る人の鼻先に突き出した趣向は「索めずして巧なり」と評し得る如くであつて、然も實は餘程の工夫に成れるものと信するのである。

三、マツダ電球の宣傳は、今度の競技の眼目であつて、殆ど凡ての参加者は、工夫を凝し、文字を洗練して、彼の特有の長所を徹底せしめ得た様である。併しその中に骨を折つて讀まねば分らぬ様な聞せ方もあり、詭計に依つて行人を誘き寄せて、強て了解を求め、見る人をして欺かれた様な悔を持たしめたものもあつた。或は又閃電式にマツダランプの名を點滅せしめて、却て印象を弱からしめたものもあつた。斯る場合に重要な注意を要する事は

一、簡にして要を盡くした特長を示す文字を使用する事
二、看る人に苦勞なく讀了せしむべき工夫を用ふる事
三、注意の押賣をせぬ事

以上である。從て特長を示すに當り商賣の繁昌する事や、家庭の幸福を増す事も勿論あるが、外れることも多い。

特長を描きあらはすにも、大きな光輝ある文字を以てするは善いが、ノンキナトウサン等を背景に描き出し、彼の話の中に其の意味を含ましむるが如きは不賛成である。北上電氣商會の覗き眼鏡式の陳列は、其の着想の奇警なる點は、最も敬服するのであるが、先に覗いて居る人の過ぎ行くのを待つて、何事であるかと好奇心を躍らせながら覗き込む人の頭には、或は「なんだ詰らない」とか「一杯喰はされた」とかの感想が生じ、却て淡き反感を惹き起す様の嫌はないであらうか。敢て叱正を待つのである。

尙終に附言する。私は今度の競技が始つて以來、是がどれ程社會の視聽を惹く事に成功したかを知りたく思ふて、此事に全く無關係な多くの友人に、何氣なく電球に就ての世間談をして見た處が、其の大多數は、言ひ合した様に「此頃マツダランプが大宣傳をやつて居る」と言て居た。是は畢竟參加諸店の努力の反影であつて即ち東京電氣は其の狙ひ處に於て、成功したものであるを示すものである。

思ふに今後マツダランプの實行は、必ず顯著なる進境を見るべきであり、各特約店經營諸君の勞苦は十分に酬ひらるゝ日が來るであらう。

入 賞 者 の 感 想

鈴木電氣商會

高 橋 守
佐 藤 政 人

ある朝私たち二人は、突然主人の前に呼ばれました。何事かと主人の言葉を待つて居りますと、やがて主人はいつもと違つた口調で非常に緊張ぶりを見せ乍ら申されました。

『今度マツダ助成會の第二回陳列窓競技會に参加することになつたから、二人協力の上でベストを盡してやつて見よ』私たちの双肩には、此時にわかに重い責任を負ひかけられたのでした。

都會が文化的に向上發達して行くにつれて、陳列窓の設備、これが利用の上手と下手は、最近商家の繁榮策として、最も大切な意義を持つことになつて來ました。平素私たち二人は、この事に就ては大に興味を持つてをりましたので、主人からの命令を好機とし、一つ新マツダランプの宣傳の氣組で、然かも他の製品を成るべく使用せずに行かうと、引受けたのですが、元來淺識のこととて、組織だつた概念とか色合とか、仲々思ふ様に浮んでまゐりませんでした。

そこで照明に關する書物なども出して參考にと思つたのでしたが、書中主として照明に大切な電燈の配光曲線、光線の高さ、場所の大きさ及び高さ、光と色合の配合等、かなり六ヶ敷いことばかりで、仲々これによつてヒントを得る事は出來さうありませんでした。

そこで今度は、銀座通りを一廻することにきめて或晩出かけて見ました。

背景で人々の注意を惹く事は、勿論でありますが、さて肝心の「新マツダランプ」の陳列法が拙劣であつては、道行く人に自家の商品を強くインプレスさせ、購買心を起させることは出來ないのでありますから、此點に注意して、「新マツダの配列と背景の色合」といふことを中心として苦心してみることにいたしました。それに私の店の飾窓は、間口が廣く奥行が狭いので、如何にしてこの奥行を廣く見せる事が出来るかも、充分考慮せねばならぬ點でありました。

遂に期限は近づきました。大體に組立てて見た處で、如何にも物足りないと思ひましたので、人目を惹くことの爲に、點滅にする事に變更したのであります。そこで點滅器を造るのに、仲々忙しい思ひをしたのでした。

顧みますと、仲々感慨深いものがありますが、然し何等經驗も持たぬ淺才にして大膽にも主人の命を受け、計らずも拔群の優實に選ばれましたことは、寧ろ奇蹟的の感がいたします。幸にして主人の名を汚すことなく、斯様な僥倖に遇ひましたのも、斯界に權威ある東京電氣株式會社並に助成會の熱心なる御指導の賜であるのは勿論、我店主の愛ある激勵の御蔭であることと、偏へに感激して居る次第であります。

感想など纏つたことは申上げることが出來ませんが、切なる勸めに従ひまして、此處に御禮を兼ねて御挨拶まで申上げることになりました。

飾付に先立ちての感想

松尾商會 松 尾 伴 三 郎

第二回陳列窓裝飾競技會の参加人といしまして、何か感想を書けとのことでありますが、何分當時は、年末のことで非常に多忙でありますし、それに發表されてからの期間が短日でありましたので、これといふ深い考慮の暇もなかつたので御座います。大體、私は、嘗て「廣告販賣術講習會」に於いて、井關先生の飾窓についての御講話を聴き、それによつて此度のヒントは與へられたものであります。

御承知の通り、飾窓は非常にむづかしいものでありますから、人目を惹かなくては勿論困りますが、あまり人目を惹き過ぎても困ると思ひました。其點につきましては私は十分注意を拂つたつもりで御座いました。

それからこれも井關先生のお談しの中にあつたことですが、下の方の裝飾にばかり注意をせず、空間の裝飾にも大に注意を要すると思ひました。

次は照明の事であります、此頃ではあまり露出的に照明しないことが一般の流行ですから、其處も考へたのですが、何分品物がランプのことですから、殊に今度の新マツダの如きは、明りを附けて飾つたわけでした。

飾つた方法は、實は最初は色別けにでもしようと考へてゐたのですが、つひにあつた形にいたしました。

背景の文字に、あの様な短かい熟語的の文字を用ひましたのは、

主に廣告といふものは、片假名の熟語的のもので書いてをきますと、表に遊ぶ子供等がいつしか口癖の様に覚えこんでしまふものです。その間に一つの廣告機關となるのであります。現に「ランプ、ランプ、ランプはマツダ」と言つて遊んでゐる子供等の聲を店頭から聞きました。その聲は何だか嬉しいやうな氣持で聞いたのであります。

何しろ私の所の飾窓は、小さなものですから、研究の餘地もありませんが、私共が優等賞に入賞いたしましたなどは、意外のやうに存じてをります。飾付に先立ちましての感想といしましては先づこれ位のもので御座います。

飾窓照明の八則

- 一、光源が目に入らぬ事、
- 二、眩輝を絶対にさける事、
- 三、電燈器具をなるべく視界にむけぬ事、
- 四、適當の照度を與ふる事
- 五、適當の反射笠を用ふる事
- 六、陳列品によつて光の色を適當に選ぶ事、
- 七、背景板に光源の映らぬ事、
- 八、光を能率よく利用する事、

電氣と波の展覽會

五月十六日から一箇月間

照明學會、日本ラヂオ協會

東京市電氣研究所の共同主催で

照明學會、日本ラヂオ協會、東京市電氣研究所の共同主催にて、來る五月十六日から六月十五日まで一箇月間、東京市有樂町東京市電氣研究所に於て、電氣と波の展覽會を開催する事となり、山川義太郎博士を委員長とし千野米作、市川繁彌、川口三郎、太田二郎、若目田利助の五氏が幹事となつて、目下其準備に就き寄々協議中であるが、出品部門を左の五部に分ち、無線電信電話、熱、光、紫外線、レントゲン線、ラヂウム、ガンマ線等の一切に、官廳學校等よりは歴史的發達のものである、又一流商店よりは其代表的の出品がある筈で、次のやうに分類されて居る。

第一 無線電信、第二 無線電話（附音樂）、第三 電熱、第四

光（光學、電燈）第五 紫外線、レントゲン線、ガンマ線、

なほ會期中は四回位ラヂオ講演を行ふと共に、「電氣と波」に関する通俗パンフレットを作成し、一般參觀者に實費を以て頒布する事になつて居る。

田中貢太郎先生選

スタンド（卓燈）十句

スタンドをめぐる紫煙や春の宵	青
さんざめく春の人卓燈かこみて	鵝
卓燈や春闌くる夜を匂に耽る	碧
スタンドや夏の夜キー打つ人の影	秋
緋牡丹もスタンドもよし女部屋	非
行春のスタンド淡き光かな	藤
スタンドや外はしきりに花吹雪	舞
スタンドに眠れぬ初夏のホテルかな	青
我が世の春も徂んとす卓燈に	紅
卓燈の光り淡々として春の徂く	蛇
	樓
	同

編輯後記に代へて

櫻が咲きました。私達日本人はあの花を見ることな
んとなしに言ひ知れぬ気分になります。春だなアと
云ふ氣、それよりは春はもうじきに徂くのではない
かと云ふ氣分であります。そして、櫻花の散るのは
またとなく心を傷めしめるのであります。

櫻花が咲き初める頃になると、一しほ日本人と
云ふ意識が甦つて参ります。そしてあの花がどん
なに吾々日本人を樂しませると同時に、よい刺激
を與へたかを考へますときに、日本に生れた幸福
を感ぜずには居られません。

ワシントン市郊外のボトマツク河畔の櫻花在咲
いたと新紙の報じたのを見ました。あの櫻の花も誇
らげに咲いて欲しいと思ふのは、私一人の願望ばか
りではなからうなど途方もないことを考へます。

櫻の花を見るたびに想ひ出されるのは、ケーベル
博士であります。少くとも日本を眞に理解し得た人
としては、ラファティガ・ハーン(小泉八雲)とケー
ベル博士だつたらうと思ひます。

ケーベル博士の小品集のうちで、今でも腦裡に残
つて居るのは、『櫻の花の頃』こそ日本人を観察すべ
き時である。即ち日本人の有する牧歌的哀歌的な
天性の最も明かに現れる季節だからである。』

『日本の國民的の花は、堅い硬ばつた魂なき萎む
を知らざる菊ではない。絹の如く柔かなる、華奢な
る芳香馥郁たる短命なる櫻花こそ實にその象徴で
ある。』

『櫻花に對するこの愛好と、櫻の名所への巡禮と
のうちには、幾分の子供らしさと、情趣と意味の深
いしかも異教的なるものがある。それは一種の美
的・感覺的・宗教的、自然崇拜であつて、其中には
恐らく知的にも情的にも古代のアドニス祭との
類似を見出すに難くない。』

『日本人はこの美しき花の束の間に羨みさうして
散り行く其の中に、わか生の無常迅速の譬喩と我が
美と青春との果敢なきを見るのである。櫻の花を眺
めてゐる時、春の唯中に秋の氣分が彼の胸に忍び入
る。』

お花見に行かれましたか。花は去つても葉櫻もま
た一しほの眺めであります。郊外散歩によい時節が
近づきつゝあります。一日の休みを野に山に心地よ

く過される時となりました。

四月號は豫告とは大變ちがつた内容で御目に
けることになりました。實はあまり慾張り過ぎま
したものですから、入らなくなつたのであります。原
稿の豊富なこととは皆様にも喜んで頂けるとしま
す。

新しい力を得、復活せる想をいだいて早速五月號
の編輯に取りかゝります。どうか呉々も行き届かぬ
所は御容赦御鞭撻を願つて止みません。

昭和二年四月二十五日印刷
昭和二年四月二十八日發行

東京電氣株式會社
編輯兼 米 山 清 三
發行人

東京市京橋區銀座三丁目十七番地
印刷人 近 藤 万 藏

東京市京橋區銀座三丁目十七番地
印刷所 三 間 印刷所

電話京橋 (局番56) 圖七
(局番55) 圖三
五三七番 四番
八七番 五番

神奈川縣川崎市

發行所

東京電氣株式會社